

令和5（2023）年度
岐阜大学大学院連合農学研究科
（後期3年のみの博士課程）
学生募集要項

2023年4月入学

一般入試・推薦入試（第1次）
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校
国際連携食品科学技術専攻

2023年4月・10月入学

一般入試・推薦入試（第2次）
外国人特別入試 英語特別プログラム入試

構成大学

岐阜大学
静岡大学

連携研究機関

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
国立研究開発法人 森林研究・整備機構

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学大学院連合農学研究科
〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
TEL (058) 293-2984・2985
FAX (058) 293-2992
E-mail renno@gifu-u.ac.jp

THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURAL SCIENCE,
GIFU UNIVERSITY
(THREE-YEAR DOCTORAL COURSE)

GUIDELINES FOR APPLICANTS

FOR ADMISSION IN APRIL, 2023

GENERAL ADMISSION・ADMISSION ON RECOMMENDATION (The First)
International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology
between Gifu University and Indian Institute of Technology Guwahati

FOR ADMISSION IN APRIL・OCTOBER, 2023

GENERAL ADMISSION・ADMISSION ON RECOMMENDATION (The Second)
SPECIAL ADMISSION FOR INTERNATIONAL STUDENTS
ENGLISH PROGRAM FOR INTERNATIONAL STUDENTS

AFFILIATED UNIVERSITY

Gifu University
Shizuoka University

COLLABORATIVE INSTITUTE

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
National Agriculture and Food Research Organization
National Research and Development Agency Forest Research and Management Organization

The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University
1-1 Yanagido, Gifu 501-1193, JAPAN
Phone: +81-58-293-2984, 2985
Fax: +81-58-293-2992
E-mail: renno@gifu-u.ac.jp

当研究科を志望する方へ

令和5(2023)年度入学者選抜試験の実施方式について、新型コロナウイルス等の状況によっては、感染症拡大防止のために募集要項の内容を変更する場合がございます。変更が生じた場合は、岐阜大学大学院連合農学研究科のホームページにて随時お知らせしますので、注意してご確認ください。

To, All applicants of the United Graduate School of Agricultural Sciences, Gifu University,

The application guideline is subject to change depending on the situation of COVID-19 in order to prevent the spread of infection. Information will be updated through the website of UGSAS-GU (<http://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/>), so applicants are advised to take a close look at the website.

目 次

【入試に関すること】

| | |
|------------------------------------|----|
| 連合農学研究科入学者受入れの方針（アドミッションポリシー） | 1 |
| 入試の概要 | 2 |
| フローチャート | 3 |
| 一般入試 | 4 |
| 推薦入試 | 12 |
| 外国人特別入試 | 17 |
| 英語特別プログラム入試 | 22 |
| 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻選抜試験 | 27 |

【岐阜大学大学院連合農学研究科の概要】

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 設置の趣旨 | 32 |
| 2. 専攻・連合講座の内容 | 32 |
| 3. 教育上の特色 | 35 |
| 4. 修了要件・学位 | 35 |
| 主指導教員となり得る者の教育研究分野・受験専門科目一覧 | 36 |
| 入試統計 | 83 |
| 試験場への案内 | 84 |
| 岐阜大学構内案内図 | 86 |

CONTENTS

【Admissions】

| | |
|---|----|
| UGSAS, GU Admission Policy | 40 |
| Admissions Overview | 42 |
| Flowchart | 43 |
| General Admission | 44 |
| Admission on Recommendation | 54 |
| Special Admission for International Students | 60 |
| English Program for International Students | 65 |
| International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology between Gifu University and Indian Institute of Technology Guwahati | 70 |

【Outline of the UGSAS, GU】

| | |
|---|----|
| 1. Purpose of Foundation | 75 |
| 2. Outline of Specialized Courses and Major Chairs [Rengo-Koza] | 75 |
| 3. Special Features of the United Graduate School of Agricultural Science | 78 |
| 4. Requirements for Doctoral Degree | 78 |
| Fields of Instruction and Research Themes of Professors | 79 |
| Admission Statistics | 83 |
| Maps and Directions | 85 |
| Campus Map | 87 |

連合農学研究科入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

本研究科は、静岡大学大学院総合科学技術研究科及び岐阜大学大学院自然科学技術研究科が中心となり、2つの大学が有機的に連合することによって、特徴ある教育・研究組織を構成し、単位制教育による多様な科目を提供し、複数教員による博士論文研究指導を進めています。

農学の理念は、地球という生態系の中で、環境を保全し、食料や生物資材の生産を基盤とする包括的な科学技術及び文化を発展させ、人類の生存と福祉に貢献することです。またこの学問は、人間の生活にとって不可欠な生物生産と人間社会との関わりを基盤とする総合科学であり、生命科学、生物資源科学、環境科学、生活科学、社会科学等を主要な構成要素としています。（平成14年「農学憲章」より抜粋）

本研究科は、生物（動物、植物、微生物）生産、生物環境及び生物資源に関する諸科学について、高度の専門能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者及び高度専門技術者を養成し、農学の進歩と生物資源関連産業の発展に寄与することを目指しています。そして、農学の持つ幅広い知識を学び、課題を探求し、境界領域や複合領域における諸問題の解決及び課題発掘能力を醸成する教育を行います。また、高度な農学の諸技術や科学の習得を希望する外国人留学生も積極的に受け入れます。

求める学生像

1. 人類の生存を基本に農学の総合性を理解し地域及び社会貢献に意欲を持つ人
2. 研究課題を自ら設定し、その課題にチャレンジする意欲を持つ人
3. 専門の知識だけでなく、幅広い知識の吸収に意欲を持つ人
4. 倫理観を持ち、農学及び関連分野でリーダーシップを発揮できる人
5. 国際的に活躍する意欲があり、そのための基礎力を持つ人

各専攻の入学者受入れの方針

生物生産科学専攻

作物の肥培管理及び家畜の飼養管理、動植物の保護・遺伝育種、生産物の利用、農林畜産業の経営、経済及び物流に関する諸問題を総合し、第1次産業としての植物及び動物の生産から、加工・流通を経て、消費者への供給に至るまでの生物関連産業の全過程に関する学理と技術に関する諸問題に関心を持ち、これらに関し社会から必要とされる研究に意欲を持つ人を求めます。

生物環境科学専攻

地球規模の環境と生物のかかわりや農林業等の生物生産の基礎となる自然環境に関する諸問題について生態学・生物学的、物理学的及び化学的手法によって学理を究めようとする人を求めます。

また、持続可能な生物資源の管理、森林生態系や農地生態系の環境保全に関する原理と技術について研究することで社会に貢献することに強い意欲を持つ人を求めます。

生物資源科学専攻

動物、植物、微生物等の生物資源とその生産基盤である土壌について、その組織・構造・機能を物理化学・有機化学・生化学・分子及び細胞生物学など多面的かつ総合的立場から解析することによって、生物資源及び生命機能に関する基盤的な学理を極め、さらに未利用資源を含めた生物資源のより高度な利活用、新規機能物質の創製、環境改善への応用に関する原理の理解と技術の修得に意欲を持つ人を求めます。

国際連携食品科学技術専攻

留学を伴う国際的な教育環境の中で食品科学技術に関する学識と高度な技術を修得し、食品に関連する日印両地域の課題解決に貢献しようとする意欲的な学生を求めます。

入試の概要

《一般入試》（詳細は4ページ以降に記載）

- ・修士課程修了者・修了予定者、又は相応の資格があると認定された者が受験することができる。
- ・試験は第1次・第2次・第3次を行う。試験は語学能力及び口頭試問。
外国語試験のスコアを提出（2019年4月以降に受験した以下のいずれかにより判定する。）
（英語）① TOEFL iBT のスコアレポート
② TOEFL ITP のスコアレポート
③ TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証
④ TOEIC L&R IP テストのスコアレポート
⑤ IELTS の 成績証明書
（日本語）※外国語試験で日本語が選択できるのは、外国籍の者に限る。
① JLPT の 成績証明書

《推薦入試》（詳細は12ページ以降に記載）

- ・以下のいずれかに該当する者が受験できる。
 - ① 岐阜大学大学院連合農学研究科教員の指導を受けて修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
 - ② 岐阜大学又は静岡大学と協定を結んでいる海外の大学において、理科系の修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
 - ③ ①、②以外で、理科系の修士の学位を授与された又は授与される見込みで、相応の学力研究能力を有すると確認できる者
- ・試験は第1次・第2次・第3次を行う。試験科目は口頭試問。

《外国人特別入試》（詳細は17ページ以降に記載）

- ・修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者で、英語能力が十分だと判断できる者が受験できる。
- ・試験は6月に行う。試験科目は口頭試問。
特例として、以下の者は随時受験することができる。
 - ① コンソーシアム加盟大学（対象の大学名は19ページに記載）の理科系の修士課程を修了又は修了見込みの者
 - ② コンソーシアム加盟大学に在職中の者
 - ③ 本研究科において特別に認められた者

《英語特別プログラム入試》（詳細は22ページ以降に記載）

- ・次の（1）～（4）のすべてを満たす者が受験できる。
 - （1）修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
 - （2）外国人留学生で、入学後3年以内に学位取得ができる優秀な者
 - （3）出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等から推薦された者
 - （4）英語能力試験において次のいずれかを満たしていること。
 - ① TOEFL iBT : 45 点以上
 - ② TOEFL ITP : 520 点以上
 - ③ TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC IP を含む) : 600 点以上
 - ④ IELTS : 5 点以上
- ・試験は2月に行う。試験科目は口頭試問。

《岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻選抜試験》 （詳細27ページ以降に記載）

- ・2段階の選抜試験の成績、学術成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行なう。
 - （1）岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻選抜試験
口頭試問を両大学合同で行う。試験に使用する言語は英語とする。
 - （2）連合農学研究科選抜試験（生物資源科学専攻の一般入試又は推薦入試）
国際連携食品科学技術専攻への出願は、生物資源科学専攻との併願とする。
岐阜大学大学院連合農学研究科で実施される第1次、あるいは第2次に、希望する主指導教員が所属する生物資源科学専攻の一般入試または推薦入試を受験する。
 - （3）英語試験におけるスコアシートの提出
英語能力は、TOEFL または TOEIC スコアによって判定する。判定の目安は以下のとおりである。
 - ① TOEFL iBT : 80 点以上
 - ② TOEIC Listening & Reading Test : 730 点以上
 - ③ IELTS : 6 点以上

令和5(2023)年4月入学

令和5(2023)年4月又は10月入学

一般/推薦
第1次

国際連携食品
科学技術専攻

一般/推薦
第2次

英語特別
プログラム

外国人特別

☆出願資格認定・
推薦資格判定
(該当者のみ)
書類提出
4/19 ~ 4/22
書類審査及び口頭試問
(必要に応じて実施)
結果通知
5/10以降発送

☆出願資格認定・
推薦資格判定
(該当者のみ)
書類提出
11/11 ~ 11/15
書類審査及び口頭試問
(必要に応じて実施)
結果通知
12/1以降発送

出願
5/6 ~ 5/31

入試
6/9 ~ 6/30
合格発表
7/22

*特例あり
詳細はP.19

出願 5/24 ~ 5/27
入試*1 7/11
合格発表 7/22

一般/推薦
第1次又は第2次
生物資源科学専攻と併願

出願 12/16 ~ 12/20
入試*1 2023年 2/6
合格発表 2023年 2/15

入試*2 2023年1月
合格発表 2023年 2/15

*1: 第1次又は第2次の生物資源科学
専攻入試と、*2: 国際連携食品科学
技術専攻入試を受験する

令和5(2023)年4月入学

令和5(2023)年10月入学

一般/推薦
第3次

令和6(2024)年度
第1次と同日程で
行います

出願資格認定・推薦
資格判定 2023年4月
出願 2023年5月
入試 2023年7月
合格発表 2023年7月

又は

令和5(2023)年10月入学

一般入試

1. 募集人員

| 専攻 | 募集人員 |
|------------|------|
| 生物生産科学 | 7人 |
| 生物環境科学 | 5人 |
| 生物資源科学 | 6人 |
| 国際連携食品科学技術 | 2人 |
| 計 | 20人 |

※この募集人員数は一般入試、推薦入試、外国人特別入試、英語特別プログラム入試、岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻入試を合計した人員数である。

2. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は、「2023年4月」又は「2023年10月」である。ただし、出願時に4月入学を希望した者が、10月入学に変更したい場合、2023年3月1日（水）までに理由書を岐阜大学大学院連合農学研究科連合農学係に提出すること。

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位を有する者又は2023年3月末日（4月入学希望者）又は9月末日（10月入学希望者）までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、出願資格（4）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格又は合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
（博士論文研究基礎力審査）
 - 1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専門科目分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期の課程において修得し、又は涵養すべきものについての試験
 - 2) 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期の課程において修得すべきものについての審査
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年告示第118号）
{平成元年告示第118号（抄）平成13年3月30日一部改正：大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者}
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したものの

4. 出願資格の認定

前頁「3. 出願資格(7)」に該当する者の認定は、次の提出書類及び必要に応じて行う口頭試問等に基づいて認定する。

なお、認定した出願資格の有効期間は、認定した年度を含め3年間である。有効期間中に出席する場合には、本研究科からの出願資格認定通知書の写しを添付することにより、出願資格認定に代えることができる。

提出書類

| | | |
|---------------------------------------|--|--------------------|
| (1) 入学試験出願資格認定申請書① (別紙様式第7号) | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 | 1通 |
| (2) 履歴書 (別紙様式第2号) | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。 | 1通 |
| (3) 研究歴証明書 (別紙様式第8号) | 研究に従事した官公庁、企業等の研究機関の長が作成したものを研究機関ごとに提出すること。 | 1通 |
| (4) 卒業証明書 (最終学校) | 出身学校長が作成したものを提出すること。 | 1通 |
| (5) 研究業績書 (別紙様式第9号：表紙用) | A4サイズ用の紙を使用し、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、(別紙様式第9号)を表紙として付けたものを、提出すること。 | 10通(正1通・副(コピー可)9通) |
| (6) 研究成果資料 | 著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を示す資料。 | 1通 |
| (7) 資格認定審査結果送付用封筒 (本研究科所定の封筒：長形3号) | 所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、789円分の切手(書留・速達を含む郵送料)を貼って提出すること。 | 1通 |

4-2) 出願資格の認定

前頁「3. 出願資格(8)」に該当する者の認定は、次の提出書類及びこれまでの研究内容等を中心とした口頭試問に基づいて認定する。

提出書類

| | | |
|-----------------------------------|---|----|
| (1) 入学試験出願資格認定申請書② (別紙様式第7号-2) | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 | 1通 |
| (2) 履歴書 (別紙様式第2号) | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。 | 1通 |
| (3) 研究歴証明書 (別紙様式第8号) | 研究に従事した官公庁、企業等の研究機関の長が作成したものを研究機関ごとに提出すること。 | 1通 |
| (4) 卒業証明書 (最終学校) | 出身学校長が作成したものを提出すること。 | 1通 |

| | | |
|---------------------------------------|---|--------------------|
| (5) 研究業績書 (別紙様式第9号: 表紙用) | A4サイズ of 用紙を使用し、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、(別紙様式第9号)を表紙として付けたものを、提出すること。 | 10通(正1通・副(コピー可)9通) |
| (6) 研究成果資料 | 著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を示す資料。 | 1通 |
| (7) 資格認定審査結果送付用封筒 (本研究科所定の封筒:長形3号) | 所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、789円分の切手(書留・速達を含む郵送料)を貼って提出すること。 | 1通 |

4-3) 提出期間

| | |
|-----|--------------------------------|
| 第1次 | 2022年4月19日(火)～4月22日(金)まで(必着) |
| 第2次 | 2022年11月11日(金)～11月15日(火)まで(必着) |

出願書類は、持参又は郵送とする。持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、「書留・速達」(表に「入学試験出願資格認定願書在中」と朱書きすること。)とする。

4-4) 認定結果

| | |
|-----|--------------------------|
| 第1次 | 2022年5月10日(火)以降に本人に通知する。 |
| 第2次 | 2022年12月1日(木)以降に本人に通知する。 |

5. 出願手続

提出書類

| | | |
|-----------------------|--|----|
| (1) 入学願書 (別紙様式第1号) | 国際連携食品科学技術専攻を志願する者(別紙様式第1号-4)出願前3ヶ月以内に撮影した写真を所定の箇所に貼付すること。(上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cmのもの) | 1通 |
| (2) 検定料:30,000円 | 同封の「振込依頼書①」「振込金(兼手数料)受領書②」「振込証明書③」にて、切り離す事なく、最寄りの銀行で振り込むこと(手数料は志願者の負担とする)。振り込み後、「振込証明書③」を入学願書に貼り付けること。 《ATMによる振り込みは、不可》 ※2023年3月又は9月に静岡大学大学院総合科学技術研究科又は岐阜大学大学院(以下「構成大学」という。)の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学を志願するものは不要である。 ※日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要である。 ただし、国費外国人留学生証明書を提出すること。 | |
| (3) 履歴書 (別紙様式第2号) | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。 (出願資格の認定申請をした者は不要) | 1通 |

| | | |
|-------------------------------|--|---------------------------------------|
| (4) 学業成績証明書等 (原本に限る) | 出身大学及び大学院の成績証明書 | 正各 1 通 |
| | 出身の短期大学その他の学校又は教育施設が発行した学業成績証明書 | 1 通 (該当者のみ) |
| (5) 語学能力証明書の写し | 2019年4月以降に受験した以下のいずれかを提出すること。 (英語) ① TOEFL iBT のスコアレポート ② TOEFL ITP のスコアレポート ③ TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証 ④ TOEIC L&R IP テストのスコアレポート ⑤ IELTS の 成績証明書 (日本語) ※外国語試験で日本語が選択できるのは、外国籍の者に限る。 ① JLPT の 成績証明書 | 1 通 |
| (6) 受験票及び写真票 | 出願前3ヶ月以内に撮影した写真を所定の箇所に貼付すること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cm のもの) | 1 通 |
| (7) 修士課程修了(見込)証明書又は最終学校の卒業証明書 | 出願資格(6)に該当する者は、博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認資料 | 1 通 |
| (8) 修士論文等 (別紙様式第3号:表紙用) | ア. 修士課程修了者 a 修士論文の写し(論文がない場合はこれに代わるもの) | 1 通 |
| | b 修士論文概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。 | 5 通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| | イ. 修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書(図表を含み、和文の場合は10,000字程度、英文の場合は6,000語程度) | 1 通 |
| | b 研究経過概要 A4 サイズの用紙(横書き)を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。 | 5 通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| | ウ. 本要項3.の出願資格(7)及び(8)に基づく志願者にあつては、修士学位相当の論文(1部)及びその概要5通(A4サイズの用紙(横書き)を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。) | 修士学位相当論文1部 概要5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| (9) 研究計画書 (別紙様式第4号:表紙用) | どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの(A4サイズの用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第4号)を表紙として付け提出すること。) | 5 通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| (10) 推薦書 (別紙様式第5号) | 出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等が作成したものを提出すること。 | 1 通 |
| (11) 受験承諾書 (別紙様式第6号) | 大学、官公庁、企業又は団体等に在職している者は、所属長の受験承諾書を提出すること。 | 1 通 |
| (12) 出願資格認定通知書の写し | 2020年度、2021年度に出願資格認定を受けた者で、引続き今年度出願する者は、出願資格認定通知書をコピーして提出すること。 | 1 通 (該当者のみ) |

| | | |
|-------------------------------------|---|-----|
| (13) 住民票又はパスポートの写し (外国人志願者) | 外国人の志願者は、市区町村の発行する在留資格が記載された住民票又は「短期滞在」査証の写しを提出すること。 住民票や「短期滞在」査証の写しがない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書を提出すること。 | 1 通 |
| (14) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第 10 号) | 出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入・押印したものを提出すること。 | 1 通 |
| (15) 受験票送付用封筒 (本研究科所定の封筒：長形 3 号) | 所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、789円分の切手（書留・速達を含む郵送料）を貼って提出すること。 | 1 通 |

6. 出願期間

| | |
|-------|--|
| 第 1 次 | 2022 年 5 月 24 日 (火) ～ 5 月 27 日 (金) まで (必着) |
| 第 2 次 | 2022 年 12 月 16 日 (金) ～ 12 月 20 日 (火) まで (必着) |

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前 9 時から午後 4 時までとする。

郵送の場合は、「書留・速達」（表に「入学願書在中」と朱書きすること。）とする。

7. 選抜の方法

学力検査の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

(1) 語学能力

外国語試験のスコアを提出

2019年4月以降に受験した以下のいずれかにより判定する。

(英語)

- ① TOEFL iBT のスコアレポート
- ② TOEFL ITPのスコアレポート
- ③ TOEIC Listening & Reading Testの公式認定証
- ④ TOEIC L&R IPテストのスコアレポート
- ⑤ IELTS の成績証明書

(日本語) ※外国語試験で日本語が選択できるのは、外国籍の者に限る。

- ① JLPT の成績証明書

(2) 口頭試問

ア. 専門科目に関する基礎力を問う問題 (10分程度)

イ. 修士論文又は修士論文相当の論文の内容及び研究計画書を中心とした口頭試問を行う。{内容説明30分(液晶プロジェクター及びノートパソコン(Windows)使用可)、質疑応答20分程度}

8. 試験の日時及び場所

| 第 1 次 | 2022 年 7 月 11 日 (月) | 試験科目 | 時間 | 場所 |
|-------|---------------------|------|-----------|--------------------|
| 第 2 次 | 2023 年 2 月 6 日 (月) | 口頭試問 | 別途指定された時間 | 岐阜大学大学院 連合農学研究科 |

9. 合格発表

| 第 1 次 | 2022 年 7 月 22 日 (金) | 時間 | 備考 |
|-------|---------------------|----|---|
| 第 2 次 | 2023 年 2 月 15 日 (水) | 正午 | 岐阜大学連合大学院研究科棟及び静岡大学農学総合棟に掲示するとともに、岐阜大学のホームページ(https://www.gifu-u.ac.jp/)にも掲載する。また、合格者には「合格通知書」、「入学承諾書用紙」(該当者のみ)を送付する。 |

10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることがないように必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けている。

相談の内容によっては対応に時間を要することがあるので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談すること。

なお、事前相談は受験に関して、よりよい方法及び在り方を模索するためのもので、入試結果の判定において不利になることはない。

また、入学後の修学に関して相談を希望する者は、本研究科へ問い合わせること。

(1) 相談時期

出願期間の開始日の一週間前までに相談すること。

※日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から受験場の配慮として申請すること。

(2) 相談方法

下記の書類を提出すること。なお、必要な場合には志願者又は関係者との面談等を行うことがある。

a 障害者等受験上の配慮申請書（本学所定の用紙）

b 医師の診断書及び障害者手帳の写し

(3) 本学所定の用紙の請求方法

用紙は、岐阜大学のホームページ〈入試案内〉からダウンロードすること。

郵便で障害者等受験上の配慮申請書の用紙を請求する場合は、封筒の表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書きし、84円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm））を同封し、本研究科へ送付すること。

※同封の返信用封筒には、住所、郵便番号、氏名（宛名）を明記すること。返信用封筒は折りたんで構わない。

(4) 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、至急本研究科へ問い合わせること。

11. 入学手続

(1) 入学手続期間及び手続方法等

2023年2月下旬（4月入学）又は2023年7月下旬（10月入学）に「入学手続案内」を本人あて送付する。

(2) 入学に要する経費

入学料 282,000円（予定額）

*入学手続時には、入学料の他、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となる。詳細については、合格者あてに別途通知する。

*2023年3月又は9月に構成大学の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者は不要である。

*入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

12. 授業料

授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）（予定額）

*前期分の授業料は5月又は11月に口座振替にて納入する。詳細については、合格者あてに別途通知する。

*日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は入学料、授業料とも不要である。

*授業料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

13. 長期履修について

本研究科では、大学院設置基準第15条に定める「長期履修学生制度」(学生が、職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的な教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができるもの)を導入している。

この制度を希望する者は、出願期間中に申し出ること。

14. 注意事項

- (1) 出願にあたっては、事前に入学を希望する教育研究分野の主指導教員予定者と相談すること。
- (2) 出願書類は、出願書類受理後、いかなる理由があっても返還しない。出願書類の記載事項の変更も認めない。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがある。

15. 検定料について

(海外からの入学志願者)

日本国外からの志願者は、検定料 30,000 円を下記の口座へ外国送金(円建て)により振り込むこと。なお、銀行から受け取る外国送金依頼書 APPLICATION FOR REMITTANCE WITH DECLARATION のコピーを出願書類に同封すること。

【検定料送金口座 Bank Information】

銀行名：十六銀行 (JUROKU BANK)

SWIFT コード：JUROJPJT

支店名：黒野支店 (KURONO BRANCH)

支店住所：〒501-1132 岐阜県岐阜市折立 124-3 (124-3 Oritate, Gifu 501-1132, JAPAN)

口座番号：1 3 6 1 9 4 8

口座名義：岐阜大学検定料口座 (GIFU DAIGAKU KENTEIRYOUKOZA)

受取人住所：〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 (1-1 Yanagido, Gifu 501-1193, JAPAN)

送金種別：電信送金

【外国送金に関する注意点】

- ・送金の際は、志願者側にて手配される銀行の送金依頼書のメッセージ欄に必ず研究科コード及び志願者名を記入すること。(連合農学研究科コード)：5 2 1
- ・円為替取扱手数料、被仕向送金取扱手数料(送金先の銀行手数料)などの送金にかかるすべての手数料は、志願者が負担すること。

16. 検定料の返還について

- (1) 次に該当した場合のみ、検定料を返還する。
 - ① 出願書類が受理されなかった場合
 - ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
 - ③ 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ④ 日本国政府国費外国人留学生在が誤って納入した場合

- (2) 返還請求の方法

上記に該当した場合は申し出ること。「検定料返戻請求書」に必要事項を記入の上、郵送すること。

17. 個人情報の取扱いについて

この出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、願書に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用し、その他の目的には利用しない。

推薦入試

1. 募集人員

5 ページ「1. 募集人員」を参照すること。

2. 入学時期

5 ページ「2. 入学時期」を参照すること。

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 岐阜大学大学院連合農学研究科教員の指導を受けて修士の学位を授与された者又は2023年3月末日（4月入学希望者）又は9月末日（10月入学希望者）までに授与される見込みの者
- (2) 岐阜大学又は静岡大学と協定を結んでいる海外の大学において理科系の修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (3) (1)、(2)以外で、理科系の修士の学位を授与された又は授与される見込みで、相応の学力研究能力を有すると確認できる者*

4. 出願手続

提出書類

| | | |
|--|--|---------------|
| (1) 入学願書 (別紙様式第1号) | 国際連携食品科学技術専攻を志願する者（別紙様式第1号-4） 出願前3ヶ月以内に撮影した写真を所定の箇所に貼付すること。（上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cmのもの） | 1通 |
| (2) 検定料：30,000円 | 同封の「振込依頼書①」「振込金（兼手数料）受領書②」「振込証明書③」にて、切り離す事なく、最寄りの銀行で振り込むこと（手数料は志願者の負担とする）。振り込み後、「振込証明書③」を入学願書に貼り付けること。 《ATMによる振り込みは、不可》 ※2023年3月又は9月に静岡大学大学院総合科学技術研究科又は岐阜大学大学院（以下「構成大学」という。）の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学を志願するものは不要である。 ※日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要である。 ただし、国費外国人留学生証明書を提出すること。 | |
| (3) 履歴書 (別紙様式第2号) | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。 | 1通 |
| (4) 学業成績証明書等 (原本に限る) ※TOEFL, TOEIC, 日本語能力試験等、語学力を証明する公式認定証等を持つ者は、その写しも併せて提出すること。 | 出身大学及び大学院の成績証明書 | 正各1通 |
| | 出身の短期大学その他の学校又は教育施設が発行した学業成績証明書 | 1通 (該当者のみ) |

| | | |
|-----------------------------------|---|-----------------------|
| (5) 受験票及び写真票 | 出願前3ヶ月以内に撮影した写真を所定の箇所に貼付すること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cmのもの) | 1通 |
| (6) 修士課程修了(見込)証明書又は最終学校の卒業証明書 | | 1通 |
| (7) 修士論文等 (別紙様式第3号:表紙用) | ア. 修士課程修了者 a 修士論文の写し(論文がない場合はこれに代わるもの) | 1通 |
| | b 修士論文概要 A4サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。 | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| | イ. 修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書(図表を含み、和文の場合は10,000字程度、英文の場合は6,000語程度) | 1通 |
| | b 研究経過概要 A4サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。 | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| (8) 研究計画書 (別紙様式第4号:表紙用) | どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの(A4サイズの用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第4号)を表紙として付け提出すること。) | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| (9) 推薦書 (別紙様式第5号) | 出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等が作成したものを提出すること。 | 1通 |
| (10) 受験承諾書 (別紙様式第6号) | 大学、官公庁、企業又は団体等に在職している者は、所属長の受験承諾書を提出すること。 | 1通 |
| (11) 住民票又はパスポートの写し (外国人志願者) | 外国人の志願者は、市区町村の発行する在留資格が記載された住民票又は「短期滞在」査証の写しを提出すること。 住民票や「短期滞在」査証の写しがない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書を提出すること。 | 1通 |
| (12) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第10号) | 出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入・押印したものを提出すること。 | 1通 |
| (13) 受験票送付用封筒 (本研究科所定の封筒:長形3号) | 所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、789円分の切手(書留・速達を含む郵送料)を貼って提出すること。 | 1通 |

| | | |
|-------------------------------|----------------------------------|----|
| ※「3. 出願資格(3)」で出願する者は必ず提出すること。 | | |
| (14) 語学能力を証明する公式認定証の写し | TOEFL, TOEIC, 日本語能力試験等の公式認定証等の写し | 1通 |
| (15) 研究成果資料 | 著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を示す資料。 | 1通 |

5. 出願期間

| | 「3.出願資格(1)、(2)」により出願する者 | 「3.出願資格(3)」により出願する者 |
|-----|------------------------------------|------------------------------------|
| 第1次 | 2022年5月24日(火)～ 5月27日(金)まで(必着) | 2022年4月19日(火)～ 4月22日(金)まで(必着) |
| | | 推薦資格判定結果は、2022年5月10日(火)以降に本人に通知する。 |
| 第2次 | 2022年12月16日(金)～ 12月20日(火)まで(必着) | 2022年11月11日(金)～ 11月15日(火)まで(必着) |
| | | 推薦資格判定結果は、2022年12月1日(木)以降に本人に通知する。 |

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、「書留・速達」(表に「入学願書在中」と朱書きすること。)とする。

※上記の期間以外にも、追加募集を行うことがある。

6. 選抜の方法

口頭試問による学業検査の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

修士論文又は修士論文相当の論文の内容及び研究計画書を中心とした口頭試問を行う。〔内容説明30分(液晶プロジェクター及びノートパソコン(Windows)使用可)、質疑応答30分程度〕

7. 試験の日時及び場所

| | | 試験科目 | 時間 | 場所 |
|-----|---------------|------|-----------|--------------------|
| 第1次 | 2022年7月11日(月) | 口頭試問 | 別途指定された時間 | 岐阜大学大学院 連合農学研究科 |
| 第2次 | 2023年2月6日(月) | | | |

8. 合格発表

| | | 時間 | 備考 |
|-----|---------------|----|---|
| 第1次 | 2022年7月22日(金) | 正午 | 岐阜大学連合大学院研究科棟及び静岡大学農学総合棟に掲示するとともに、岐阜大学のホームページ(https://www.gifu-u.ac.jp/)にも掲載する。また、合格者には「合格通知書」、「入学承諾書用紙」(該当者のみ)を送付する。 |
| 第2次 | 2023年2月15日(水) | | |

9. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

10ページ「10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

10. 入学手続

10ページ「11. 入学手続」を参照すること。

11. 授業料

10ページ「12. 授業料」を参照すること。

12. 長期履修について

11ページ「13. 長期履修について」を参照すること。

13. 注意事項

11ページ「14. 注意事項」を参照すること。

14. 検定料について

11ページ「15. 検定料について」を参照すること。

15. 検定料の返還について

11ページ「16. 検定料の返還について」を参照すること。

16. 個人情報の取扱いについて

11ページ「17. 個人情報の取扱いについて」を参照すること。

外国人特別入試

1. 募集人員

5 ページ「1. 募集人員」を参照すること。

2. 入学時期

5 ページ「2. 入学時期」を参照すること。

3. 出願資格

修士の学位を授与された者及び2023年3月末日（4月入学希望者）又は9月末日（10月入学希望者）までに授与される見込みの者で、次の各号のいずれにも該当する者。

- ① 外国人留学生で、入学後3年以内に学位取得ができる優秀な者
- ② 出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等から推薦された者
- ③ 英語能力が十分な者

4. 出願・試験日程

| | 期 日 | *特 例 | 備 考 |
|------|---------------------------|--|--|
| 出 願 | 2022年5月6日(金)～ 5月31日(火) | (4月入学希望者) 2022年6月1日(水) ～2022年12月20日(火) (10月入学希望者) 2022年6月1日(水) ～2023年5月31日(水) | 在学生は所属大学研究科長、有職者は所属長、その他の者は出身大学の研究科長を通じて、岐阜大学大学院連合農学研究科連合農学係へ提出すること。 |
| 試 験 | 2022年6月9日(木) ～6月30日(木) | 2022年7月1日(金) ～2023年6月30日(金) | 岐阜大学、志願者の出身大学及び入試委員会が定める所定の場所において、「6.選抜の方法」で定められた方法で面接を行う。 |
| 合格発表 | 2022年7月22日(金) 正午 | 試験後30日以内に通知する | 岐阜大学連合大学院研究科棟及び静岡大学農学総合棟に掲示するとともに、岐阜大学のホームページ(https://www.gifu-u.ac.jp/)に掲載する。 *特例は岐阜大学大学院連合農学研究科のホームページ(http://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/)に掲載する。 また、合格者には「合格通知書」、「入学承諾書用紙」(該当者のみ)を送付する。 |

*特例として、以下の者は、随時受験することができる。

- ①コンソーシアム加盟大学の理科系の修士課程を修了又は修了見込みの者
- ②コンソーシアム加盟大学に在職中の者

| |
|---|
| <p>コンソーシアム加盟大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バン格拉デシュ農業大学(バン格拉デシュ)・ダッカ大学(バン格拉デシュ)・広西大学(中国) ・アッサム大学(インド)・インド工科大学グワハティ校(インド)・アンダラス大学(インドネシア) ・ボゴール農科大学(インドネシア)・ガジャマダ大学(インドネシア)・バンドン工科大学(インドネシア) ・スブラス・マレット大学(インドネシア)・ランボン大学(インドネシア)・ラオス国立大学(ラオス) ・マリアノ・マルコス州立大学(フィリピン)・チュラロンコン大学(タイ)・カセサート大学(タイ) ・モンクット王トンプリ工科大学(タイ)・ハノイ工科大学(ベトナム)・チュイロイ大学(ベトナム) <p style="text-align: right;">(2022年4月現在)</p> |
|---|

- ③本研究科において特別に認められた者

5 . 出願手続

提出書類

| | | |
|-----------------------------------|---|-----------------------|
| (1) 入学願書 (別紙様式第1号-2) | 出願前3ヶ月以内に撮影した写真を所定の箇所に貼付すること。(上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cmのもの) | 1通 |
| (2) 検定料納入証明 | 検定料30,000円を、指定の口座へ振り込み、振り込んだ証拠書類の写しを提出すること。なお、円為替取扱手数料、被仕向送金取扱手数料などの送金にかかるすべての手数料は、志願者の負担とする。 | 1通 |
| (3) 履歴書 (別紙様式第2号) | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 | 1通 |
| (4) 学業成績証明書 (原本に限る) | 出身大学及び大学院の成績証明書 | 正各1通 |
| (5) 英語能力を証明する公式認定証の写し | TOEFL, TOEIC等の公式認定証等の写し | 1通 |
| (6) 受験票及び写真票 | 出願前3ヶ月以内に撮影した写真を所定の箇所に貼付すること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cmのもの) | 1通 |
| (7) 修士課程修了(見込)証明書 又は最終学校の卒業証明書 | | 1通 |
| (8) 修士論文等 (別紙様式第3号:表紙用) | ア. 修士課程修了者 a 修士論文の写し(論文がない場合はこれに代わるもの) | 1通 |
| | b 修士論文概要 A4サイズ用の紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。 | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| | イ. 修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書(図表を含み、和文の場合は10,000字程度、英文の場合は6,000語程度) | 1通 |
| | b 研究経過概要 A4サイズ用の紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。 | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| (9) 研究計画書 (別紙様式第4号:表紙用) | どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの(A4サイズの用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第4号)を表紙として付け提出すること。) | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| (10) 推薦書 (別紙様式第5号) | 出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等が作成したものを提出すること。 | 1通 |
| (11) 受験承諾書 (別紙様式第6号) | 大学、官公庁、企業又は団体等に在職している者は、所属長の受験承諾書を提出すること。 | 1通 |
| (12) 住民票又はパスポートの写し | 市区町村の発行する在留資格が記載された住民票又は「短期滞在」査証の写しを提出すること。 住民票や「短期滞在」査証の写しがない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書を提出すること。 | 1通 |
| (13) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第10号) | 出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入・押印したものを提出すること。 | 1通 |

6. 選抜の方法

面接の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

面接（対面）又はインターネット面接

原則として3人の研究科教員と対面形式の面接を行うが、事情によっては、出身大学等においてテレビ会議システムを使用したテレビ面接を行うか、電子メールによる質疑応答を行う。

※電子メールによる質疑応答の方法

- ・電子メールによる質疑応答は、最初に主指導教員予定者から入学志願者へ、入学願書に記入されたメールアドレスに対してメールにて連絡を行う。
- ・志望専攻等に所属する3人の教員により、各教員3回以上（合計9回以上）のメールの発信により実施する。

7. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

10ページ「10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

8. 入学手続

10ページ「11. 入学手続」を参照すること。

9. 授業料

10ページ「12. 授業料」を参照すること。

10. 長期履修について

11ページ「13. 長期履修について」を参照すること。

11. 注意事項

11ページ「14. 注意事項」を参照すること。

12. 検定料について

11ページ「15. 検定料について」を参照すること。

13. 検定料の返還について

11ページ「16. 検定料の返還について」を参照すること。

14. 個人情報の取扱いについて

11ページ「17. 個人情報の取扱いについて」を参照すること。

英語特別プログラム入試

1. 英語特別プログラムの概要

英語特別プログラムは、農学系分野における研究者のリーダーを育成すべく、広く諸外国より優秀な留学生を受入れ、英語だけを用いて教育を実施する。本プログラムでは、通常のカリキュラムと同等以上の質の英語による講義を全専攻において行い、留学生は日本語を使うことなく修了に必要な単位を取得することができる。

なお、本プログラムにおいては、岐阜大学外国人留学生規程により入学試験の検定料、入学料及び3年分の授業料を不徴収とする。

2. 募集人員

| 専攻 | 募集人員 |
|--------|------|
| 生物生産科学 | 若干名 |
| 生物環境科学 | 若干名 |
| 生物資源科学 | 若干名 |

*英語特別プログラム入試は、推薦入試と併願可能である。

3. 入学時期

5 ページ「2. 入学時期」を参照すること。

4. 出願資格

次の(1)～(4)のすべてを満たす者が受験できる。

- (1) 修士の学位を授与された者及び2023年3月末日(4月入学希望者)又は9月末日(10月入学希望者)までに授与される見込みの者
- (2) 外国人留学生で、入学後3年以内に学位取得ができる優秀な者
- (3) 出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等から推薦された者
- (4) 英語能力試験において次のいずれかを満たしていること。
 - ① TOEFL iBT : 45 点以上
 - ② TOEFL ITP : 520 点以上
 - ③ TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC IP を含む) : 600 点以上
 - ④ IELTS : 5 点以上

5. 出願手続

提出書類

| | | |
|-----------------------------------|---|-----------------------|
| (1) 入学願書 (別紙様式第1号-3) | 出願前3ヶ月以内に撮影した写真を所定の箇所に貼付すること。(上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cmのもの) | 1通 |
| (2) 履歴書 (別紙様式第2号) | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 | 1通 |
| (3) 学業成績証明書 (原本に限る) | 出身大学及び大学院の成績証明書 | 正各1通 |
| (4) 英語能力を証明する公式認定証の写し | TOEFL iBT, TOEFL ITP, TOEIC Listening & Reading Test, IELTS のいずれかの公式認定証の写し | 1通 |
| (5) 受験票及び写真票 | 出願前3ヶ月以内に撮影した写真を所定の箇所に貼付すること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cmのもの) | 1通 |
| (6) 修士課程修了(見込)証明書又は最終学校の卒業証明書 | | 1通 |
| (7) 修士論文等 (別紙様式第3号:表紙用) | ア. 修士課程修了者 a 修士論文の写し(論文がない場合はこれに代わるもの) | 1通 |
| | b 修士論文概要 A4サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。 | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| | イ. 修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書(図表を含み、和文の場合は10,000字程度、英文の場合は6,000語程度) | 1通 |
| | b 研究経過概要 A4サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。 | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| (8) 研究計画書 (別紙様式第4号:表紙用) | どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの(A4サイズの用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第4号)を表紙として付け提出すること。) | 5通 (正1通・副(コピー可)4通) |
| (9) 推薦書 (別紙様式第5号) | 出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等が作成したものを提出すること。 | 1通 |
| (10) 受験承諾書 (別紙様式第6号) | 大学、官公庁、企業又は団体等に在職している者は、所属長の受験承諾書を提出すること。 | 1通 |
| (11) 住民票又はパスポートの写し | 市区町村の発行する在留資格が記載された住民票又は「短期滞在」査証の写しを提出すること。 住民票や「短期滞在」査証の写しがない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書を提出すること。 | 1通 |
| (12) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第10号) | 出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入・押印したものを提出すること。 | 1通 |
| (13) 受験票送付用封筒 (本研究科所定の封筒:長形3号) | 在日中の者は、所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、789円分の切手(書留・速達を含む郵送料)を貼って提出すること。 | 1通 |

6. 出願期間

2022年12月16日(金)～12月20日(火)まで(必着)。

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、「書留・速達」(表に「入学願書在中」と朱書きすること。)とする。

7. 選抜の方法

口頭試問による学業検査の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

修士論文又は修士論文相当の論文の内容及び研究計画書を中心とした口頭試問を行う。〔内容説明30分(液晶プロジェクター及びノートパソコン(Windows)使用可)、質疑応答30分程度〕

8. 試験の日時及び場所

| | 試験科目 | 時間 | 場所 |
|--------------|------|-----------|--------------------|
| 2023年2月6日(月) | 口頭試問 | 別途指定された時間 | 岐阜大学大学院 連合農学研究科 |

9. 合格発表

2023年2月15日(水) 正午

*岐阜大学連合大学院研究科棟及び静岡大学農学総合棟に掲示するとともに、岐阜大学のホームページ(<https://www.gifu-u.ac.jp/>)にも掲載する。また、合格者には「合格通知書」、「入学承諾書用紙」(該当者のみ)を送付する。

10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

10ページ「10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

11. 入学手続

(1) 入学手続期間及び手続方法等

2023年2月下旬(4月入学)又は2023年7月下旬(10月入学)に「入学手続案内」を本人あて送付する。

(2) 入学に要する経費は、不徴収とする。

*入学手続時には、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となる。詳細については、合格者あてに別途通知する。

*英語特別プログラム入試に不合格だが、推薦入試で合格して入学した学生は、入学料282,000円(予定額)が必要である。ただし、2023年3月又は9月に構成大学の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者は不要である。

1 2. 授業料

授業料（修了年限の3年間）は不徴収とする。

*英語特別プログラム入試に不合格だが、推薦入試で合格して入学した学生は、授業料が必要である。（半期分）267,900 円（年額）535,800 円（予定額）。

1 3. 注意事項

- (1) 出願にあたっては、事前に入学を希望する教育研究分野の主旨導教員予定者と相談すること。
- (2) 出願書類は、出願書類受理後、いかなる理由があっても返還しない。出願書類の記載事項の変更も認めない。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがある。

1 4. 検定料について

検定料は徴収しない。

1 5. 個人情報の取扱いについて

この出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、願書に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用し、その他の目的には利用しない。

**岐阜大学・インド工科
大学グワハティ校
国際連携食品科学技術専攻**

1. 募集人員

| 専攻 | 募集人員 | |
|------------|------|---------------|
| 国際連携食品科学技術 | 岐阜大学 | インド工科大学グワハティ校 |
| | 1人 | 1人 |

2. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は、「2023年4月」である。

3. 出願資格

岐阜大学大学院連合農学研究科学生募集要項5ページ「一般入試」、13ページ「推薦入試」の「3. 出願資格」を参照すること。

4. 出願手続

岐阜大学大学院連合農学研究科学生募集要項7ページ「一般入試」の「5. 出願手続」、13ページ「推薦入試」の「4. 出願手続」を参照すること。言語は英語とする。

5. 出願期間

| | |
|-----|--------------------------------|
| 第1次 | 2022年5月24日(火)～5月27日(金)まで(必着) |
| 第2次 | 2022年12月16日(金)～12月20日(火)まで(必着) |

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、「書留・速達」(表に「入学願書在中」と朱書きすること。)とする。

6. 選抜の方法

本専攻では2段階の選抜試験の成績、学術成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行なう。

(1) 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻選抜試験

専門的知識及び本専攻における研究提案を中心とした口頭試問を両大学合同で行う。また、2国間での履修に問題が生じないか両大学合同で評価し選考する。なお、試験に使用する言語は英語とする。

(2) 連合農学研究科選抜試験(一般入試、推薦入試)

国際連携食品科学技術専攻への出願は、生物資源科学専攻との併願とする。

岐阜大学大学院連合農学研究科で実施される第1次、あるいは第2次に、希望する主指導教員が所属する生物資源科学専攻の一般入試または推薦入試を受験する。

第1希望：国際連携食品科学技術専攻(英語で記入)

第2希望：生物資源科学専攻

(3) 英語試験におけるスコアシートの提出

英語能力は、TOEFLまたはTOEICスコアによって判定する。判定の目安は以下のとおりである。

- ① TOEFL iBT : 80点以上
- ② TOEIC Listening & Reading Test : 730点以上
- ③ IELTS : 6点以上

7. 試験の日時及び場所

| 試験 | 日時* | 場所 |
|------------------|-------------------|--------------------|
| 国際連携食品科学技術専攻選抜試験 | 2023年1月中* | 別途指定された場所 |
| 連合農学研究科選抜試験 | 第1次 2022年7月11日(月) | 岐阜大学大学院 連合農学研究科 |
| | 第2次 2023年2月6日(月) | |

*詳しい日時については別途通知する。

8. 合格発表

2023年2月15日(水) 正午

*岐阜大学大学院連合農学研究科棟に掲示するとともに、岐阜大学のホームページ(<https://www.gifu-u.ac.jp/>)にも掲載する。また合格者には「合格通知書」、「入学承諾書用紙」(該当者のみ)を送付する。

9. 指導教員等一覧

入学願書中の希望する教員名の記入に当たっては、岐阜大学より1名決定し記入してください。なお、インド工科大学グワハティ校の教員に関しては岐阜大学側の教員と相談のうえ、決定してください。

10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

10ページ「10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

11. 入学手続

(1) 入学手続期間及び手続方法等

2023年2月下旬に「入学手続案内」を本人あてに送付する。

(2) 入学に要する経費

入学料 282,000円(予定額)は、不徴収とする。

*入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

12. 授業料

授業料(半期分) 267,900円(年額535,800円)(予定額)

ただし1年前期については全員免除とする。また半期ごとに判定を行い、成績優秀者に関しては授業料を、修了年限3年を限度として免除する。

*授業料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

13. 注意事項

11ページ「14. 注意事項」を参照すること。

14. 検定料について

11 ページ「15. 検定料について」を参照すること。

15. 検定料の返還について

11 ページ「16. 検定料の返還について」を参照すること。

16. 個人情報の取扱いについて

11 ページ「17. 個人情報の取扱いについて」を参照すること。

岐阜大学大学院連合農学研究科の概要
(後期3年のみの博士課程)

1. 設置の趣旨

静岡大学、岐阜大学及び信州大学の各大学の農学研究科^{*}が有機的に連合することによって、特徴のある教育・研究組織を編成し、生物生産、生物環境及び生物資源に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野をもった研究者及び専門技術者を養成し、農学の進歩と生物資源関連産業の発展に寄与し、さらに、農林畜水産分野の人材養成を切望する海外からの要請にも応えて、高度の学術・技術の修得を希望する外国人留学生を積極的に受入れ、諸外国における農学及び関連産業の発展にも寄与しようとするものである。本研究科の教育・研究組織は、中部地方の環境、立地など農学及び産業に関連する諸要因を考慮し、産学共同によって、中部地方の発展にも貢献するものである。

^{*}平成22年度からは、静岡大学及び岐阜大学の2大学による構成となる。

2. 専攻・連合講座の内容

| 専攻 | 連合講座 | 講座内容 |
|---|---------|--|
| 生物生産科学 作物の肥培管理及び家畜の飼養管理、動植物の栄養、保護、遺伝育種、生産物の利用、農林畜産業の経営、経済及び物的流通に関する諸分野を総合し、第1次産業としての植物及び動物の生産から消費者への供給に至るまでの全過程に関する学理と技術に関する諸問題を教育・研究する。 | 植物生産管理学 | 植物の生産から消費者への供給までの過程における諸分野の教育と研究を主として担当する。この過程は、播種から収穫に至る生産部門と、出荷から消費者までの流通部門、生物生産に関する経営・経済部門の3つの部門からなる。生産・流通部門では、生物工学や農学エレクトロニクス等の先端技術を取り入れ、遺伝資源の保全、植物の遺伝的改良、種苗生産、肥培管理に至る生産技術及び収穫物の流通技術、流通の仕組み等に関する教育・研究を行う。また経営・経済部門では、生物生産の生産性、収益性の持続的向上と農山村生活の改善等に関する教育・研究を行う。 |
| | 動物生産利用学 | 人類の福祉に直接または間接に貢献する各種動物の生産に関する学理を究め、新技術の開発・確立・利用を図るとともに、高度かつ広範な視野に立って、動物の生産機能、飼料の有効利用、飼養管理の適正化等、動物の生産性を支配する諸事項について教育・研究する。特に、動物の成長、繁殖、発生に対する生物工学の適用並びに飼料の利用性及び飼養管理技術の向上のための情報処理に重点を置く。 |

| 専 攻 | 連合講座 | 講座内容 |
|--|----------------|---|
| <p>生物環境科学</p> <p>生物生産の基礎となる農地及び林野を造成し、これを良好な状態に維持し、災害を防ぎ、荒廃から守ることは現時点においても長期的展望からもなおざりにできない重要課題である。特に、最近国際的にも種々の角度から論議されている地球規模の環境問題には、農業の領域に含まれるものが少なくないことには注目しなければならない。この分野には、無機的環境に関する諸問題を物理的及び化学的手法によって考究する側面と、その環境に生息する生物群集に関する諸問題を、生態学的しくみに基づいて解明する側面とがある。</p> | <p>環境整備学</p> | <p>植物生産の基礎としての林野及び農地における土環境、水環境、生活環境、地域環境等を主として工学的・計画的手法によって整備し、植物生産の拡大・安定化と生産性の向上の基盤をつくるため及び機械による作業の効率化のための学理と技術について教育と研究を行う。具体的には、林野、農地及び生活環境の保全、防災、開発、改良、整備、関連施設の構築、機械の開発及び利用等を通じて国土資源の長期的有効利用を図り、植物生産の基盤と生活環境を確立する。</p> |
| | <p>生物環境管理学</p> | <p>農地、林野及びそれらを取り巻く空間における生態系の構造と機能を解明し、時々刻々変化する無機及び有機的環境条件下における生態系の変遷を生物学的に把握する。その一方でそのような生態系の仕組みに基づく保全と有効利用の原理と方策について、他方において植物保護、人工環境下における栽培及び環境調節装置・機械の理論と応用について教育・研究する。</p> |

| 専攻 | 連合講座 | 講座内容 |
|--|--------------------|--|
| <p>生物資源科学</p> <p>動物、植物、微生物等の生物資源とその生産基盤である土壌について、その組織・構造・機能を物理化学、化学、生化学、生物学など多面的、総合的立場から解析することによって、生物資源並びに生命機能に関する学理を究め、さらに生物工学の基礎研究を行い、未利用資源を含めた生物資源の構造と機能の解明、より高度な加工・利用、新機能の創生及び廃棄物処理に関する原理と技術について教育・研究する。</p> | <p>生物資源利用学</p> | <p>生物資源の生理的、化学的、理化学的特性など基礎的事項を研究し、生物資源を食糧資源、エネルギー資源など様々な資源や資材として利用するために必要な学理を生理学、生化学、化学、物理学、工学など幅広い視点から究明し、この学理に基づいて未利用資源も含めた生物資源をより高度に加工・利用・保蔵する技術を開発・改良し、衣、食、住並びに生活環境の改善、生物資源のエネルギー化・飼肥料化、有効還元利用並びに廃棄物処理について教育・研究する。</p> |
| | <p>スマートマテリアル科学</p> | <p>各種天然物質や合成物質を構成する様々な物質の構造や機能を、化学分析的手法や化学合成的手法を用いて、原子、分子、細胞、組織など異なったレベルで解明するとともに、それらの物質間の相互作用、分子情報伝達機構、生理活性発現機構などを明らかにし、生命現象の化学的原理を究明する。これらの原理に基づいて、化学的手法により、生物資源をより高度に利用したり新しい生理機能をもつ物質を開発したりする技術に関して教育・研究を行う。</p> |
| | <p>生物機能制御学</p> | <p>蛋白質、核酸をはじめとする生体機能高分子、培養細胞並びに微生物の性質、構造、機能を解析し、生物機能とその制御・利用に関する学理を究明する。この学理に基づいて動物、植物、微生物のもつ代謝調節機能、生産機能を増強・改善したり、有用な生物生産系を開発するための基礎的研究を行い、これらを基盤に遺伝子組換え、細胞融合、細胞培養、酵素・微生物固定化などのバイオテクノロジーを駆使した生物生産技術について教育・研究を行う。</p> |

| 専攻内容 |
|---|
| <p>国際連携食品科学技術</p> <p>国際連携を組む岐阜大学及び IITG の強みを活かした食品科学技術に関する独自の教育プログラムを構築し、食品科学技術に関する高度な専門性とデザイン思考を活用した研究能力を基盤として、日印両国の食品関連産業を牽引する高度専門職業人を指導できる研究開発人材を養成する。さらに、国際連携プログラムの特長を活かし、英語を共通言語としてコミュニケーションする力、国際性（異文化適応力と国際的協働力）及び産業を牽引する研究開発リーダーならびに教育リーダーとしての資質を育てる。</p> |

3. 教育上の特色

- (1) 学生は、構成国立大学法人に所属する教員の中から自己が主指導教員についての希望を申し出る。本研究科はこれを調整のうえ、学生の主指導教員及び研究を行う専門分野を決定する。
- (2) 指導教員は、学生1人につき主指導教員1人と副指導教員2人を充てる。従って、学生1人に3人の教員が指導に当たる。
- (3) 学生は、主指導教員が専任として在職する構成国立大学法人に配置され、研究指導を受けるが、他の構成国立大学法人の施設・設備も利用できる。

[岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻]

本専攻では、連携先大学に1年間留学することが必須の要件となる。

修学スケジュール

| 学期 | 1st | 2nd | Break | 3rd | 4th | Break | 1st | 2nd | Break | 3rd | 4th | Break | 1st | 2nd | Break | 3rd | 4th | Break |
|-------------|---------------|-----|-------|-----|-----|-------|---------------|-----|-------|-----|-----|-------|---------------|-----|-------|-----|-----|-------|
| 開始月 | 4月 | 6月 | 8月 | 10月 | 12月 | 2月 | 4月 | 6月 | 8月 | 10月 | 12月 | 2月 | 4月 | 6月 | 8月 | 10月 | 12月 | 2月 |
| 岐阜大学 入学生 | 岐阜大学において履修と研究 | | | | | | IITGにおいて履修と研究 | | | | | | 岐阜大学において履修と研究 | | | | | |
| IITG 入学生 | IITGにおいて履修と研究 | | | | | | 岐阜大学において履修と研究 | | | | | | IITGにおいて履修と研究 | | | | | |

4. 修了要件・学位

本研究科に3年以上在学したうえ、定める単位を修得し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には「博士（農学）」の学位を授与する。ただし、特に優れた研究業績を上げた者の在学期間については、短縮されることがある。

修了に必要な最低修得単位数は、12単位とする。うち8単位は必修科目を受講し、残りの4単位を選択科目から修得する。

英語特別プログラム学生の修了に必要な最低修得単位数は、12単位とする。うち10単位は必修科目を受講し、残りの2単位を選択科目から修得する。

[岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻]

本研究科に3年以上在学したうえ、定める単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、岐阜大学とインド工科大学グワハティ校の連名による「博士（学術）」の学位を授与する。

修了に必要な最低修得単位数は、12単位とする。うち9単位は必修科目を受講し、残りの3単位を選択科目から修得する。

主指導教員となり得る者の教育研究分野・受験専門科目一覧

第3次の志願者は、一覧表が変更される場合があるので、連合農学研究科ホームページ(<http://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/>)で確認すること。

| 専攻 | 連合講座 | 主指導教員 氏名(所属) | 教育研究分野 | | 受験専門科目 |
|----------------------------|------------------------------------|------------------|---|---------------------------------------|-----------------|
| | | | 名称 | 内容 | |
| 生 物 生 産 科 学 | 植物生産管理学 | 山田 邦夫 (岐阜大学) | 花卉園芸学 | 花卉園芸植物の品質および生産性向上に関する植物生理学的研究 | 花卉園芸学 |
| | | 松原 陽一 (岐阜大学) | 野菜園芸学 | 野菜に関する生物生理学的理論と、持続可能型・環境ストレス耐性型栽培への応用 | 野菜園芸学 |
| | | 鈴木 克己 (静岡大学) | 施設野菜園芸学 | 施設園芸での野菜の高品質安定生産に関する研究 | 施設野菜園芸学 |
| | | 切岩 祥和 (静岡大学) | 野菜園芸学 | 野菜栽培における環境ストレスの制御とその利用 | 野菜園芸学 |
| | | 八幡 昌紀 (静岡大学) | 果樹園芸学 | 果樹の結実生理および染色体工学的的手法を用いた高品質果樹の開発 | 果樹園芸学 |
| | | 松本 和浩 (静岡大学) | 園芸イノベーション学 | 園芸植物の高付加価値化に関する生理生態学的研究 | 園芸イノベーション学 |
| | | 中塚 貴司 (静岡大学) | 花卉園芸学 | 花卉園芸形質の分子生物学研究 | 花卉園芸学および植物分子生物学 |
| | | 嶋津 光鑑 (岐阜大学) | 植物環境制御学 | 植物生産に関する環境制御技術の開発および環境制御技術の植物科学研究への応用 | 植物生産工学 |
| | | 大場 伸也 (岐阜大学) | 植物生育診断学 | 資源植物の遺伝的・生化学的解析と耕地生態学による生産技術の改善 | 植物生態生理学 |
| | | 山根 京子 (岐阜大学) | 植物遺伝育種学 | 植物の遺伝資源評価, 保全, 利用および進化に関する研究 | 植物遺伝育種学 |
| | | 中野 浩平 (岐阜大学) | ポストハーベスト工学 | 農産物の品質保持理論の構築と流通技術への応用 | ポストハーベスト工学 |
| | | 加藤 雅也 (静岡大学) | 収穫後生理学 | 収穫後の園芸作物における生理学・生化学・分子生物学 | 収穫後生理学 |
| | | 李 侖美 (岐阜大学) | 農業経済学 | 地域農業経済と農業政策に関する理論的・実証的研究 | 農業経済政策学 |
| | | 柴垣 裕司 (静岡大学) | 農業経営学 | 農業協同組合及び農業金融に関する理論と応用 | 農業経営経済学 |
| | THAMMAWONG, Manasikan (岐阜大学) | ポストハーベスト生理学 | 食品の品質変化メカニズム解明と品質保持技術開発 | ポストハーベスト生理学 | |
| | (*) 蔦 瑞樹 (岐阜大学) | 非破壊計測学 | 分光分析法及びデータマイニングによる食品・青果物の品質推定法 | 非破壊計測学 | |
| | 動物生産利用学 | 楠田 哲士 (岐阜大学) | 動物保全繁殖学 | 希少野生動物の繁殖生理生態と動物園学に関する教育研究 | 動物園動物繁殖学 |
| | | 笹浪 知宏 (静岡大学) | 動物生理化学 | 鳥類の卵膜形成および受精の分子機構に関する研究 | 動物生理学 |
| | | 与語 圭一郎 (静岡大学) | 動物生殖生理学 | 哺乳動物の生殖科学と生殖細胞の形成・分化機構 | 生殖生物学 |
| | | 岩澤 淳 (岐阜大学) | 動物内分泌化学 | 動物の内分泌と代謝に関する生化学的研究 | 動物内分泌化学 |
| 松村 秀一 (岐阜大学) | | 動物遺伝学 | 動物の遺伝的多様性と進化に関する研究 | 動物分子遺伝学 | |
| 八代田 真人 (岐阜大学) | | 動物栄養生態学 | 反芻家畜の栄養生態とその家畜生産への応用 | 動物栄養学 | |
| 山本 朱美 (岐阜大学) | | 動物栄養学 | 単胃家畜の効率生産と栄養生理に関する研究 | 動物栄養学 | |
| 二宮 茂 (岐阜大学) | | 動物管理学 | 応用動物行動学とアニマルウェルフェア | 動物福祉行動学 | |
| 古屋 康則 (岐阜大学) | | 動物生殖生物学 | 魚類の生殖器官の機能形態と繁殖行動から見た生殖様式の進化に関する研究、および増養殖への応用 | 動物生殖生物学 | |

(*) 客員教授であり、主な研究活動の場は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門(連携機関)である。

| 専攻 | 連合講座 | 主指導教員 氏名(所属) | 教育研究分野 | | 受験専門科目 |
|----------------------------|---------|-----------------------|------------|-----------------------------------|------------|
| | | | 名称 | 内容 | |
| 生 物 環 境 科 学 | 環境整備学 | 平松 研 (岐阜大学) | 環境水理学 | 農村地域の水環境整備と水域生態系保全に関する研究 | 環境水理学 |
| | | 大西 健夫 (岐阜大学) | 水文学 | 地球上の水・物質循環の機構および人間活動がそれに及ぼす影響の評価 | 水文学 |
| | | 伊藤 健吾 (岐阜大学) | 水圏環境学 | 水田における水環境の制御と水田生態系の保全 | 応用生態工学 |
| | | 西村 眞一 (岐阜大学) | 農業造構学 | 農業水利構造物の安全性と有効利用に関する研究 | 農業造構学 |
| | | 西山 竜朗 (岐阜大学) | 農業施設工学 | 農業用ダムの力学 | 農業施設工学 |
| | | 今泉 文寿 (静岡大学) | 砂防工学 | 山地における土砂と水の移動過程と流域管理 | 砂防工学 |
| | | 勝田 長貴 (岐阜大学) | 地球環境システム学 | 湖沼の水文調査と堆積物の分析を通じた環境システム変動特性の評価 | 地球環境システム学 |
| | | 乃田 啓吾 (岐阜大学) | 水利環境学 | 持続的な水資源管理および水環境の創出 | 水利環境学 |
| | 生物環境管理学 | 松井 勤 (岐阜大学) | 作物学 | 持続可能な作物生産に関する研究 | 作物学 |
| | | 土田 浩治 (岐阜大学) | 昆虫生態学 | 昆虫個体群内の遺伝的変異性に関する研究 | 昆虫生態学 |
| | | 向井 貴彦 (岐阜大学) | 生物地理学 | 生物の地理的多様性の形成と維持機構および保全に関する研究 | 生物地理学 |
| | | 田上 陽介 (静岡大学) | 応用昆虫学 | 昆虫共生系を利用した害虫の生物的防除技術開発 | 昆虫共生生物学 |
| | | 笠井 敦 (静岡大学) | 生物的防除学 | 害虫管理における種間相互作用に関する研究 | 生物的防除学 |
| | | 堀池 徳祐 (静岡大学) | 分子進化学 | ゲノム情報を用いた分子進化学研究 | 生物情報学 |
| | | 須賀 晴久 (岐阜大学) | 分子植物病理学 | 植物病原菌の進化、生態ならびに病原性機構に関する研究 | 分子植物病理学 |
| | | 山下 雅幸 (静岡大学) | 生態遺伝学 | 外来植物および雑草の侵入生態学的研究 | 侵入生態学 |
| | | 稲垣 栄洋 (静岡大学) | 農業生態学・雑草科学 | 農村の生物多様性評価と雑草の生態的管理に関する研究 | 雑草学 |
| | | 大塚 俊之 (岐阜大学) | 生態系生態学 | 生態系の炭素循環と炭素吸収能力に関する研究 | 陸上生態系の炭素循環 |
| | | 飯尾 淳弘 (静岡大学) | 森林生理生態学 | 森林群落の光合成と蒸散の生理生態学的プロセスに関する研究 | 森林生理生態学 |
| | | 村岡 裕由 (岐阜大学) | 植生生理生態学 | 植物個体から生態系スケールに至る生理生態学的研究 | 植生生理生態学 |
| | | 魏 永芬 (岐阜大学) | 環境計測学 | 流域における物質動態の計測評価 | 環境計測学 |
| | | 安藤 正規 (岐阜大学) | 森林動物管理学 | 森林生態系における動植物の相互作用と保護管理に関する研究 | 森林動物管理学 |
| | | 富田 涼都 (静岡大学) | 環境社会学 | 環境と社会の持続的なガバナンスについての研究 | 環境社会学 |
| | | 三宅 崇 (岐阜大学) | 進化生態学 | 動植物の種間相互作用とそれに伴う形質進化に関する研究 | 進化生態学 |
| | | 斎藤 琢 (岐阜大学) | 生物環境物理学 | 陸域生態系における物質・熱循環に関する研究 | 生物環境物理学 |
| | | 森部 絢嗣 (岐阜大学) | 野生動物資源学 | 野生動物の保全と資源利用に関する研究 | 野生動物資源学 |
| | | 広田 勲 (岐阜大学) | 地域資源生態学 | 東南アジアおよび日本における植物資源利用と生業システムに関する研究 | 地域資源生態学 |
| 田中 貴 (岐阜大学) | 作物栽培学 | 作物生産の高位安定化に向けた栽培技術の開発 | 作物栽培学 | | |

| 専攻 | 連合講座 | 主指導教員 氏名(所属) | 教育研究分野 | | 受験専門科目 | |
|-------|---------|-------------------|-----------------|--|-----------------------------------|----------|
| | | | 名称 | 内容 | | |
| 生物資源学 | 生物資源利用学 | 河合真吾 (静岡大学) | リグニン生化学 | リグニン及び関連化合物の生合成および生分解とその有効利用 | リグニン生化学 | |
| | | 山田雅章 (静岡大学) | 高分子複合材料 | 反応性PVAを使用した環境適応形木材用接着剤の開発等、木材接着、木質材料の製造、木材の化学加工分野の研究 | 木材接着学 | |
| | | 小島陽一 (静岡大学) | 木質バイオマス科 | 木質バイオマス資源の有効活用に関する研究 | 木質バイオマス科 | |
| | | 小林研治 (静岡大学) | 木質構造学 | 木質構造物の耐震性能に関する研究 | 木質構造学 | |
| | | 岩本悟志 (岐阜大学) | 食品物性工学 | 食品分散系の相変化・形態変化を利用した食品の高付加価値化に関する研究 | 食品コロイド学 | |
| | | ◎西津貴久 (岐阜大学) | 食品加工学 | 食品製造プロセスの工学的解析と食品物性に関する基礎的研究 | 食品製造工学 | |
| | | ◎勝野那嘉子 (岐阜大学) | 食品加工学 | 食品製造、保存過程における成分変化に関する研究 | 食品加工学 | |
| | | ◎矢部富雄 (岐阜大学) | 糖質生化学 | 糖鎖構造と機能に関する研究 | 糖鎖生物学 | |
| | | 鈴木史朗 (岐阜大学) | バイオマス材料化学 | バイオマスの化学的構造、形成および利用に関する研究 | バイオマス材料化学 | |
| | | 小堀光 (静岡大学) | 木質バイオマス科 | 木質バイオマスの有効利用およびそれらの非破壊評価手法に関する研究 | 木質材料利用学 | |
| | | (*)安藤泰雅 (岐阜大学) | 農産食品加工学 | 農産食品の組織構造解析と加工プロセスの高度化に関する研究 | 農産食品加工学 | |
| | 学 | スマートマテリアル科学 | 安藤弘宗 (岐阜大学) | 糖鎖関連化学 | 糖鎖関連分子の化学合成と機能解明および医薬への応用 | 糖鎖創製応用化学 |
| | | | 今村彰宏 (岐阜大学) | 応用糖質化学 | 生理活性複合糖質および高機能化糖関連分子の有機化学的創製と応用研究 | 応用糖質化学 |
| | | | ◎上野義仁 (岐阜大学) | 核酸化学 | 機能性核酸の化学合成と工学及び医学的応用 | 遺伝子有機化学 |
| | | | 吉松三博 (岐阜大学) | 生命有機化学 | 新規な合成法を利用した生理活性物質の創製とその生体機能 | 有機化学 |
| | | | 鈴木健一 (岐阜大学) | 細胞生物物理学 | 1分子観察による細胞膜構造と分子情報伝達機構の研究 | 細胞生物物理学 |

(*) 客員准教授であり、主な研究活動の場は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門(連携機関)である。

◎：国際連携食品科学技術専攻の指導資格も兼ねる。

| 専攻 | 連合講座 | 主指導教員 氏名(所属) | 教育研究分野 | | 受験専門科目 |
|--------------------|---------|-----------------------|----------|--------------------------------|----------|
| | | | 名称 | 内容 | |
| 生物 資源 科学 | 生物機能制御学 | 中川 寅 (岐阜大学) | 応用生化学 | 酵素・タンパク質の生化学・分子細胞生物学、並びにその応用 | 応用生化学 |
| | | 中村浩平 (岐阜大学) | 微生物分子生態学 | 嫌気性微生物の生態とその応用 | 微生物分子生態学 |
| | | 小川直人 (静岡大学) | 環境微生物学 | 環境微生物の機能の解明 | 環境微生物学 |
| | | ◎清水将文 (岐阜大学) | 植物病理学 | 有用微生物を利用した植物病害の生物防除および植物生長の制御 | 植物病理学 |
| | | ◎中川智行 (岐阜大学) | 食品栄養学 | 酵母の分子育種と細胞機能の解明、新規食品産業用酵素の開発 | 食品微生物学 |
| | | ◎島田昌也 (岐阜大学) | 分子栄養学 | 栄養素や食品成分による代謝性疾患(脂肪肝、糖尿病など)の制御 | 分子栄養学 |
| | | ◎海老原章郎 (岐阜大学) | 酵素科学 | 酵素の構造と機能に関する研究 | 酵素科学 |
| | | 木塚康彦 (岐阜大学) | 糖鎖生化学 | 糖鎖の生理機能と疾患関連性の解明のための生化学的研究 | 糖鎖生化学 |
| | | 一家崇志 (静岡大学) | 植物栄養生理学 | 非生物的ストレス耐性機構に関する植物栄養学的研究 | 植物栄養生理学 |
| | | ◎小山博之 (岐阜大学) | 植物細胞工学 | 不良土壌耐性機構の分子生理学と分子育種に関する研究 | 植物細胞工学 |
| | | ◎山本義治 (岐阜大学) | 植物ゲノム科学 | 植物の環境適応機構とその進化 | 植物ゲノム科学 |
| | | ◎小林佑理子 (岐阜大学) | 植物分子栄養学 | 植物の栄養環境・有害元素に対する応答・耐性の分子機構 | 植物分子栄養学 |
| | | 西村直道 (静岡大学) | 食品栄養化学 | 食による大腸発酵環境の変動を介した宿主生理応答の解明 | 食品栄養化学 |
| | | 北口公司 (岐阜大学) | 食品免疫学 | 食品成分による免疫調節機構に関する研究 | 食品免疫学 |
| | | (**)堀江祐範 (岐阜大学) | 微生物機能制御 | 乳酸菌の環境及び生物との相互作用の解明と利用 | 食品微生物科学 |
| | | (**)千葉靖典 (岐阜大学) | 微生物糖科学 | 微生物を活用した物質と糖タンパク質の生産に関する研究 | 微生物糖科学 |
| | | (**)舘野浩章 (岐阜大学) | 糖鎖工学 | 糖鎖工学・レクチン工学に関する研究 | 糖鎖工学 |
| (***)田中剛 (岐阜大学) | ゲノム情報学 | ゲノム情報を利用した植物多様性に関する研究 | ゲノム情報学 | | |

(**) 客員教授であり、主な研究活動の場は国立研究開発法人産業技術総合研究所(連携機関)である。

(***) 客員教授であり、主な研究活動の場は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 基盤技術研究本部高度分析研究センター(連携機関)である。

◎: 国際連携食品科学技術専攻の指導資格も兼ねる。

| 専攻 | 主指導教員 氏名(所属) | 教育研究分野 | | 受験専門科目 |
|------------|-----------------|--------|-------------------------------|--------|
| | | 名称 | 内容 | |
| 国際連携食品科学技術 | 柳瀬 笑子 (岐阜大学) | 生物有機化学 | ポリフェノール類の単離構造決定とその化学反応性に関する研究 | 生物有機化学 |

UGSAS, GU Admission Policy

The United Graduate School provides unique educational programs with a wide variety of subjects under the credit-based system and doctoral dissertation research guidance by multiple supervisors through the synergistic linkage mainly between the Graduate School of Integrated Science and Technology, Shizuoka University and the Graduate School of Natural Science and Technology, Gifu University.

The principles of agricultural science are: in an ecological system called Earth, to preserve environment; to develop comprehensive scientific technologies and cultures based on the production of foods and biological materials; and to contribute to the existence and welfare of mankind. Agricultural science is an integrated science based on the relationship between biological production, which is essential to human life, and human society, consisting mainly of biological science, biological resources science, environmental science, life science and social science. (in Charter of Agricultural Science, Japan, 2002)

The Graduate School aims to cultivate researchers and professional engineers/technologists with highly professional ability, abundant academic knowledge and a broad perspective of science related to Biological (animals, plants, and microbial products) Resources, Biological Environment and Biological Resources, and thereby to contribute to the advancement of agricultural science and development of biological-resources-related industries. The Graduate School provides education to allow students to acquire extensive knowledge of agricultural science and to conduct a research on a given subject and seek a solution, and furthermore to develop the ability to solve problems and the ability to discover research subjects that can be exercised in the boundary fields and multidisciplinary fields. The Graduate School also welcomes overseas applicants who are willing to learn and acquire advanced agricultural technologies and science.

Students the UGSAS, GU seeks:

1. Individuals who are willing to understand the integrate nature of agricultural science based on the existence of mankind and to contribute to the local community and society.
2. Individuals who are willing to set research subjects on their own and to challenge such research subjects.
3. Individuals who are willing to absorb not only professional knowledge but also a wide range of knowledge.
4. Individuals who have strong ethics and are able to exercise their leadership skills in the agricultural science and other relevant fields.
5. Individuals who are willing to play an active role on the global stage and have necessary basic ability.

Admission policy of each course

Science of Biological Production

Candidates should have an interest in and a desire for societally-demanded research in scientific principles and technologies uniting issues in soil fertility management for crops and nutritional management of livestock; animal and plant protection, breeding and genetics, and product use; and management, economics, and physical distribution in agricultural, forestry, and livestock industries, in all processes of these primary industries leading from plant and animal production and processing to delivery to the consumer.

Science of Biological Environment

Candidates should have an interest in the use of ecological, biological, physical, and chemistry-based techniques to investigate scientific principles in issues affecting the environment and organisms at a global level, and natural environment-related issues grounded in biological production in agricultural, forestry, and other related industries.

Candidates should also have a strong desire to contribute to society through research of scientific principles and technologies relating to sustainable management of bioresources and environmental conservation of forest ecosystems and cultivated ecosystems.

Science of Biological Resources

Candidates should have a desire to investigate basic scientific principles concerning biological resources and life functions by analyzing the organization, structure, and function of animal, plant, microbial, and other bioresources and soil, the base of their production, from an interdisciplinary and integrated perspective including physical chemistry, organic chemistry, biochemistry, and molecular and cellular biology. Candidates should also have a desire to master technologies and understand principles relating to advanced utilization of bioresources, including unutilized resources; discovery of new functional materials; and application in environmental improvement.

International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology

Prospective candidates should have a desire to acquire the fundamental knowledge and the advanced skills in food science and technology in a global learning environment. They should also possess a desire to contribute to identifying solutions for society in food and related industries in India as well as Japan.

Admissions Overview

The UGSAS, GU offers five types of admissions.

《General Admission》 (Refer to Page 44 – 53 for the details)

- Those who have a Master's degree / are expected to complete a Master's Course, or those who are awarded a degree equivalent or superior to a Master's degree are eligible to apply.
- The entrance exam (Language ability and Interview) for this admission is conducted three times.
Submit language proficiency test scores. (Judgment by taking the test after April 2019, by one of the following tests.)
[English] ① Score report of TOEFL iBT ② Score report of TOEFL ITP ③ A copy of the official certificate issued by TOEIC Listening & Reading Test ④ Score report of TOEIC L&R IP ⑤ Transcript issued by IELTS
[Japanese] ※Japanese nationals are invalid. ① Transcript of JLPT

《Admission on Recommendation》 (Refer to Page 54 – 59 for the details)

- Any one of the following qualifications is necessary for admission:
 - a. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree under the supervision of faculty staff belong to The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by March 31, 2023 (for entry in April, 2023) or September 30, 2023 (for entry in October, 2023).
 - b. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at any sister universities of Gifu University or Shizuoka University.
 - c. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at any universities other than stated above (a) and (b), and satisfies the UGSAS admission policy (refer to page 40).
- The entrance exam (Interview) for this admission is conducted three times.

《Special Admission for International Students》 (Refer to Page 60 – 64 for the details)

- Those who have / are expected to be conferred a Master's degree, and are proficient in English are eligible to apply.
- The entrance exam (Interview) for this admission is conducted in June.
However, applicants who fall into any of the following categories are eligible to take the exam throughout a year.
 - a. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at the member universities of the consortium (see P.62)
 - b. Those who are teaching at the member universities of the consortium (see P.62)
 - c. Those who are specially accredited by UGSAS, GU

《English Program for International Students》 (Refer to Page 65 – 69 for the details)

- Applicants should meet all of the following qualifications.
 - a. Applicants who have been conferred a Master's degree or who are expected to be conferred a Master's degree.
 - b. Applicants should be academically outstanding international students with the ability to obtain a doctorate within three years of enrollment in the program.
 - c. Applicants should be recommended by direct leader such as academic supervisors of their graduate school, government agencies or private companies.
 - d. Applicants should meet at least one of the following requirements to show English proficiency.
 - ① TOEFL iBT: 45 points or more ② TOEFL ITP: 520 points or more
 - ③ TOEIC Listening & Reading Test, (or TOEIC-IP) : 600 points or more ④ IELTS: 5 points or more
- The entrance exam (Interview) for this admission is conducted in February.

《International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology》 (Refer to Page 70 – 73 for the details)

Selection will be conducted in two-stages based on the results of the applicant's oral examination, transcripts, and other supporting materials.

- (1) Examination in international joint Ph.D. program in food science & technology
Fundamental knowledge in the target academic area in which the applicant wishes to study, research plan, master's thesis, etc., and competency in the English language.
- (2) Take one of the following examinations;
General admission: Refer to Page 44 - 53
Admission on recommendation: Refer to Page 54 – 59
Applicants who wish to enter the International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology are to apply concurrently for the Science of Biological Resources Course, in which the desired academic supervisor belongs to. Entrance examinations, both general and by recommendation, will be conducted in July (1st Application) or February (2nd Application).
- (3) English language qualification
You will need to demonstrate competency in English by submitting a test score from one of the following recognized English language qualification, such as:
 - ① TOEFL iBT: 80 points or more ② TOEIC Listening & Reading Test: 730 points or more ③ IELTS: 6 points or more

Admission in APRIL, 2023

Admission in APRIL · OCTOBER, 2023

General Admission / Admission on Recommendation The First

International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology

General Admission / Admission on Recommendation The Second

English Program for International Students

Special Admission for International Students

☆Eligibility Screening for Application (If necessary)
Documents Submission April 19–22
(Screening, Interview)
Results Announcement After May 10
See P.44 / See P.54

☆Eligibility Screening for Application (If necessary)
Documents Submission November 11–15
(Screening, Interview)
Results Announcement After December 1
See P.44 / See P.54

Application
May 6–31

Exam
June 9–30

Results Announcement
July 22
* Exceptions

See P.62

Application May 24–27
Exam*1 July 11
Results Announcement July 22

General Admission / Admission on Recommendation The First or The Second
First choice: International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology
Second choice: Science of Biological Resources

Application December 16–20
Exam*1 February 6, 2023
Results Announcement February 15, 2023

Exam*2 January, 2023
Results Announcement February 15, 2023

To admit JD program, take both Exam*1 Science of Biological Resources (The First or The Second) and Exam*2 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology is required.

Admission in APRIL, 2023

Admission in OCTOBER, 2023

General Admission / Admission on Recommendation The Third

Will be held on the same schedule as The First in 2024

Eligibility Screening for Application April, 2023
Application May, 2023
Exam July, 2023
Results Announcement July, 2023

OR

Admission in OCTOBER, 2023

General Admission

1. Number of Students to be Admitted

| Course | Admission Quota |
|--|-----------------|
| Science of Biological Production | 7 |
| Science of Biological Environment | 5 |
| Science of Biological Resources | 6 |
| International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology | 2 |
| Total | 20 |

The table above shows the total number of all five types of admissions.

2. Admission Dates

April or October 2023

Applicants who wish to change their desired entrance date from April to October after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Wednesday, March 1, 2023.

3. Qualifications for Application

Any one of the following qualifications is necessary for admission:

- (1) Those who have a Master's degree or those who are expected to complete a Master's Course by March 31, 2023 (for entry in April, 2023) or September 30, 2023 (for entry in October, 2023).
- (2) Those who have received a degree equivalent or superior to a Master's degree from an overseas educational institution or who are expected to receive such a degree.
- (3) Those who are awarded a degree equivalent or superior to a Master's degree after completing a correspondence or an online course of a foreign school in Japan or who are expected to receive such a degree.
- (4) Those who have received a degree equivalent to Master's degree or professional graduate degree by completing required education designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science & Technology at educational institutes in Japan with a foreign graduate course education system or who are expected to receive such a degree.
- (5) Those who have completed a program at the United Nations University and have received a degree equivalent to Master's degree or who are expected to receive such a degree.
- (6) Those who have completed an education course at a foreign school (at educational institutions that have been designated as qualifying for admission), (4) or those who have attended the United Nations University and passed an examination that is equivalent to the Examination of Doctoral Thesis Study Basic Ability, or those who are expected to pass the examination and are recognized as having academic ability that is considered equal to or greater than that of an applicant who holds a Master's degree shall be deemed qualified.
(Examination of Doctoral Thesis Study Basic Ability)
 - i) Examination to substantiate the applicant's advanced professional knowledge and ability in the major subject and basic knowledge in fields that are related to the major subject, which the candidate has learned or intends to develop in the first course.
 - ii) Examination to substantiate the applicant's ability to autonomously conduct research related to the doctoral thesis and to that which will be learned in the first course.
- (7) Those who are engaged in research for 2 years or more after completing their undergraduate course in Japan or a 16-year course of school education in a foreign country, and have academic capability equivalent or superior to the Master's degree are eligible to apply for the doctoral course. The qualifications will be examined by the Board of Representatives. [Notification No.118 by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, 1989. (Partially amended on March 30, 2001)] The candidates who apply under this category are advised to contact the office of the United Graduate School of Agricultural Science.
- (8) Those who are above 24 years of age and have a Master's or a higher degree. Applicants are required to satisfy an application qualification examination performed by the Graduate School.

4. Eligibility Screening

Accreditation of the applicant who qualifies for (7) of section 3 on the previous page is based on the submission of the following documents and oral examination, etc., if necessary. The validity period of accredited eligibility is 3 years, including the year accredited. If applying during the validity period, it is not necessary to undergo the “Eligibility Screening” by submitting a copy of “Notification of accreditation for application eligibility”.

<Documents to be submitted>

| | | |
|--|--|--------------------------------|
| (1) Certified application form for the entrance examination ① (Form No. 7) | Fill out Form No. 7 issued by the United Graduate School. | 1 original |
| (2) Curriculum vitae (Form No. 2) | Fill out Form No. 2 issued by the United Graduate School. *International students should fill from elementary | 1 original |
| (3) Research history certificate (Form No. 8) | Certificates should be completed and submitted by the director/CEO of each research laboratory or department, such as government and municipal offices and enterprises, where applicants have done their research work. Use Form No. 8 issued by the United Graduate School. | 1 original |
| (4) Graduation certificate | Submit a certificate from the last school attended with the university president’s signature. | 1 original |
| (5) Research achievements form (Form No. 9: cover) | Write in about 2,000 characters in the case of Japanese, or about 1,200 words in the case of English. Use form No. 9 as a cover. | 10 (1 original, 9 photocopies) |
| (6) Supplementary materials to show past research results and achievements | Supplementary materials such as books, scientific theses, scientific reports, scientific lectures, patents. | 1 original |
| (7) Self-addressed, 120mm×235mm envelope | Enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 789 yens’ worth of stamps (the stamp includes fees for registered express delivery). | 1 original |

4-2) Eligibility Screening

Accreditation of the applicant who qualifies for (8) of section 3 on the previous page is based on an oral examination that focuses on the following documents and currently research content, etc.

<Documents to be submitted>

| | | |
|--|---|--------------------------------|
| (1) Certified application form for the entrance examination ② (Form No. 7-2) | Fill out Form No. 7-2 issued by the United Graduate School. | 1 original |
| (2) Curriculum vitae (Form No. 2) | Fill out Form No. 2 issued by the United Graduate School. *International students should fill from elementary education. | 1 original |
| (3) Research history certificate (Form No. 8) | Certificates should be completed and submitted by the director/CEO of each research laboratory or department, such as government and municipal offices and enterprises, where applicants have done their research work. Use Form No. 8 issued by the United Graduate School. | 1 original |
| (4) Graduation certificate | Submit a certificate from the last school attended with the university president's signature. | 1 original |
| (5) Research achievements form (Form No. 9: cover) | Write in about 2,000 characters in the case of Japanese, or about 1,200 words in the case of English. Use Form No. 9 as a cover. | 10 (1 original, 9 photocopies) |
| (6) Supplementary materials to show past research results and achievements | Supplementary materials such as books, scientific theses, scientific reports, scientific lectures, patents. | 1 original |
| (7) Self-addressed, 120mm×235mm envelope | Enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 789 yens' worth of stamps (the stamp includes fees for registered express delivery). | 1 original |

4-3) Submission Period

| | |
|------------------------|---|
| The First Application | Tuesday, April 19, 2022 to Friday, April 22, 2022 |
| The Second Application | Friday, November 11, 2022 to Tuesday, November 15, 2022 |

The application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9am to 4pm (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kakitome sokutatsu*).

4-4) Announcement of Results

| | |
|------------------------|--|
| The First Application | We will notify the applicants of the results after Tuesday, May 10, 2022. |
| The Second Application | We will notify the applicants of the results after Thursday, December 1, 2022. |

5. Application Procedure

<Documents to be submitted>

| | | |
|--|--|----------------------------------|
| (1) Application for Admission (Form No. 1) | Applicants for International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology should fill out (Form No. 1-4). Stick your photograph (4cm long x 3cm wide, taken within the last 3 months; facing forward with no hat) with glue in the box. | 1 original |
| (2) Examination fee: 30,000 yen | <p>The payment of examination fee should be made in yen to the following account.</p> <p>① Bank: THE JUROKU BANK, LTD. ② Beneficiary: GIFUDAIGAKU KENTEIRYOKOZA ③ Branch: KURONO ④ Account number: 1361948</p> <p>Without separating the enclosed “Request for Payment Form (1),” “Receipt (2),” and “Payment Certificate (3),” remit the examination fee at your nearest bank (a service charge must be paid by the applicant). After making the remittance, attach the “Payment Certificate (3)” with the application papers. Transfers cannot be made from ATMs.</p> <p>*An examination fee is not necessary for those who will complete any of the master’s courses of Gifu University or the Graduate School of Integrated Science and Technology, Shizuoka University in March or September 2023 and wish to continue a post graduate course at the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University.</p> <p>*Foreign students who are recipients of a Japanese Government Scholarship do not need to pay the examination fee. However, submit a Certificate of Japanese Government Scholarship Student with your application.</p> | |
| (3) Curriculum vitae (Form No. 2) | <p>Print clearly on the curriculum vitae form (Form No. 2).</p> <p>*International students should fill from elementary education. (Not necessary for those who apply for the accreditation for application eligibility.)</p> | 1 original |
| (4) Academic record | Official transcripts from the (a) university and (b) graduate school the applicant graduated from (issued by the university the applicant graduated from). | (a) 1 original (b) 1 original |
| | Below is only for those who apply: An academic record issued by your junior college or other educational institutions or schools | 1 original (if necessary) |
| (5) Language proficiency test scores | <p>Judgment by taking the test after April 2019, by one of the following tests.</p> <p>[English] (a) Score report of TOEFL iBT (b) Score report of TOEFL ITP (c) A copy of the official certificate issued by TOEIC Listening & Reading Test (d) Score report of TOEIC L&R IP (e) Transcript issued by IELTS</p> <p>*Any unofficial certificates such as “Prediction Test” are not acceptable.</p> <p>[Japanese] ※Japanese nationals are invalid. (a) Transcript of JLPT</p> | 1 copy |

| | | | |
|---|---|--|---|
| (6) Entrance Exam and Photograph ID Card | Stick your photograph (4cm long x 3cm wide, taken within the last 3 months; facing forward with no hat) with glue in the box on the Photo ID Card. | 1 original | |
| (7) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master's Degree | Issued by the university authority. Applicants with qualification (6) are required to submit a document showing they have passed the Qualification Examination or equivalent. | 1 original | |
| (8) Thesis for a Master's Degree, etc. (Form No. 3: Cover sheet) | A. Those who hold a Master's degree | (a) A copy of the Master's thesis or an equivalent document | 1 copy |
| | | (b) Summary of Master's thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| | B. Those who are expected to complete a Master's Course | (a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams) | 1 copy |
| | | (b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| | C. Those who qualify for (7) or (8) of Section 3 | (a) Thesis for a degree equivalent to a Master's degree | 1 copy |
| | | (b) Summary of thesis for a degree equivalent to a Master's degree The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| (9) Statement of Research Plan (Form No. 4: Cover sheet) | Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 4 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies) | |
| (10) Letter of Recommendation (Form No. 5) | Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school, your direct leader at the government agencies or private companies. Use Form No. 5. | 1 original | |
| (11) Letter of Consent for Application (Form No. 6) | If you work at the University, government agencies or private companies, submit a letter of consent for application written by the director of your company or public office. Use Form No. 6. | 1 original | |
| (12) Notification of accreditation for application eligibility | If you got accredited in 2020 or 2021 and are applying this year, submit a copy of "Notification of accreditation for application eligibility". | 1 copy (if necessary) | |
| (13) Resident Record or Passport copy | International applicants must submit a copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant's status of residence is stated; or a copy of the Temporary Visitor's Visa. If you don't have either of the above, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document. | 1 photocopy | |
| (14) Prospective Academic Supervisors (Form No. 10) | Applicants must request to fill out this form to the primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Use Form No. 10. | 1 original | |

| | | |
|--|--|------------|
| (15) Self-addressed, 120mm ×235mm envelope | Enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 789 yens' worth of stamps (the stamp includes fees for registered express delivery). | 1 original |
|--|--|------------|

6. Period of Application

| | |
|------------------------|---|
| The First Application | Tuesday, May 24, 2022 to Friday, May 27, 2022 |
| The Second Application | Friday, December 16, 2022 to Tuesday, December 20, 2022 |

Application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9am to 4pm (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kakitome sokutatsu*).

7. Method of Selection of Applicants

Selection will be made by the results of oral examinations, transcripts, and other material of the applicant.

(1) Examination in academic subjects

① Language ability

Submit language proficiency test scores.

(Judgment by taking the test after April 2019, by one of the following tests.)

[English]

- (a) Score report of TOEFL iBT
- (b) Score report of TOEFL ITP
- (c) A copy of the official certificate issued by TOEIC Listening & Reading Test
- (d) Score report of TOEIC L&R IP
- (e) Transcript issued by IELTS

[Japanese] ※Japanese nationals are invalid.

- (a) Transcript of JLPT

② Oral examination

(a) Examination that asks basic skills related to applicant's specialized subjects. (Approx. 10 minutes)

(b) The oral examination will mainly be centered on the applicant's Master's degree thesis or its substitute, and the statement of the applicant's research plan at the United Graduate School. The examination will consist of 30 minutes of presentation and about 20 minutes of discussion. A computer projector and a Windows laptop computer with PowerPoint will be available for use.

8. Date and Venue of Examinations

Time, date, and the place of the oral examination is shown in the following table.

| The First Application | Monday, July 11, 2022 | Examination | Time | Venue |
|------------------------|--------------------------|-------------|------------------------|---|
| The Second Application | Monday, February 6, 2023 | Oral | Individually specified | The United Graduate School, Gifu University |

9. Announcement of Successful Candidates

| | | | |
|------------------------|------------------------------|---------|--|
| The First Application | Friday, July 22, 2022 | 12:00 - | Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on university website (https://www.gifu-u.ac.jp/). In addition, each successful candidate will be informed by mail. |
| The Second Application | Wednesday, February 15, 2023 | | |

10. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Gifu University provides consultation for challenged applicants who may require special arrangements during the entrance examinations.

Please be sure to request consultation as soon as possible (notwithstanding the specified deadline for consultations), as, depending on the outcome of the consultations, it may take some time to make the special arrangements.

The consultation is for seek for the better way to arrangement during the entrance examination. Therefore it doesn't count against the applicants in the determination.

Please contact our office for consulting about the study after entering Gifu University.

(1) Consultation Period

Please contact us one week before at the latest the start of application period.

*Those who use hearing aid, crutch and wheelchair in everyday life is needed to consult because of the arrangement for the room of examination and others.

(2) Consultation Process

Applicants must submit the following documents. If necessary, the applicant or a related party may be asked to attend an interview.

a) Applicants must submit a Special Disability Assistance for Exams Application Form (refer to the form provided by Gifu University).

b) Applicants must submit a copy of their medical certificate and a disability handbook.

(3) How to request the application form specified by Gifu University

Please note that the application form can be downloaded from the admissions information section of Gifu University website.

When submitting a request for the Special Disability Assistance for Exams Application Form, please write "Request for Special Disability Assistance for Exams Application Form" in red ink on the front of the envelope, and enclose a self-addressed return envelope (rectangular #3 23.5cm long, 12.0cm wide) with 84 yens' worth of stamps affixed to it; this should be sent to our department.

*The self-addressed return envelope should have your name, address and postal code clearly indicated on it. The self-addressed return envelope may be folded up.

(4) In the event of disability caused by sudden or unforeseen accidents after the consultation deadline

In the event of disability caused by sudden or unforeseen accident etc. after the consultation deadline, please contact us as soon as possible.

11. Admission Procedures

(1) Period and Method for Admission

Guidebook for admission procedures will be sent to the successful candidate in late February, 2023 (for entry in April, 2023) or in late July, 2023 (for entry in October, 2023).

(2) Admission Fee

Admission fee: 282,000 yen (estimated)

*Other than the admission fee, successful candidates are required to purchase “Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)” and “Liability Insurance for Students Pursuing Education and Research (LSR)”. Further information will be notified to the candidates after being accepted to the program.

*Students who will complete the master’s program at any participating university in March or September 2023 are exempt from admission fee.

*The admission fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

12. Tuition Fee

Tuition fee (first semester): 267,900 yen (estimated; 535,800 yen a year is payable in two installments for the first and second semester)

*Students will pay the tuition for the first semester in May by bank account transfer. Further information will be notified to the candidates after being accepted to the program.

*International students who will remain as the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship recipients in the new academic year are exempt from both admission and tuition fees. Towards this, the international students mentioned above must submit the certificate of the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship.

*The tuition fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

13. Long-term Enrollment System

Our graduate school has a system called the “Long-term Enrollment System” stipulated in Article 15 of the Graduate School Establishment Standards. This system allows students with a full-time job or other circumstances, who wish to complete the program, to study beyond the standard term for a set period of time with a well-planned curriculum. Those who wish to apply this system must contact the Office of the United Graduate School of Agricultural Science during the application period.

14. Important Notification

- (1) Applicants must contact the prospective primary academic supervisor of choice before applying to the program.
- (2) Submitted application forms will not be returned and any alteration of the forms will not be allowed.
- (3) Applicants must submit complete, accurate and authentic documents for application. To do otherwise may result in denial of admission.

15. Method of Payment for Examination Fee

Applicants outside Japan

Examination Fee: ¥30,000 (Japanese Yen)

Applicants outside Japan should remit the examination fee in Japanese Yen ONLY to the following bank account. All the charges including handling fees for remittance and exchange are to be paid by applicants.

Note: In applying for remittance, please write the code number of UGSAS ('521') and applicant's name for confirmation in the section of "Message to Beneficiary/Recipient" on the application for remittance. In addition, applicants are required to enclose a copy of the original "Remittance Application" with the mailing application materials.

【Bank Information】

THE JUROKU BANK, LTD.

SWIFT CODE: JUROJPJT

Bank Branch: KURONO

(Bank Branch Address: 124-3 Oritate, Gifu 501-1132, JAPAN)

A/C No.: 1361948

Beneficiary's/Recipient's Name: GIFU DAIGAKU KENTEIRYOKOZA

(Beneficiary's/Recipient's Address: 1-1 Yanagido, Gifu 501-1193, JAPAN)

16. Application Fee Reimbursement

- (1) The application fee will be reimbursed under the following conditions.
 - (a) If the application is not accepted.
 - (b) If the applicant pays the application fee twice or pays too much in error.
 - (c) If the applicant does not submit an application after paying the application fee.
 - (d) If the applicant who are recipients of a Japanese Government Scholarship and mistakenly pays the application fee.
- (2) Requesting reimbursement

Please send your request to the office, if you are eligible for reimbursement.

17. Personal Information

The information provided in the application, such as name, address, and other personal information will only be used by the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University Office for the purpose of processing applications and notifying successful applicants.

Admission on Recommendation

1. Number of Students to be Admitted

Refer to Page 45.

2. Admission Dates

April or October 2023

Applicants who wish to change their desired entrance date from April to October after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Wednesday, March 1, 2023.

3. Qualifications for Application

Any one of the following qualifications is necessary for admission:

- (1) Those who have / are expected to be conferred a Master's degree under the supervision of faculty staff belong to The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by March 31, 2023 (for entry in April, 2023) or September 30, 2023 (for entry in October, 2023).
- (2) Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at any sister universities of Gifu University or Shizuoka University.
- (3) Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at any universities other than stated above (1) and (2), and satisfies the UGSAS admission policy (refer to page 40).[※]

4. Application Procedure

<Documents to be submitted>

| | | |
|---|---|---|
| <p>(1) Application for Admission (Form No. 1)</p> | <p>Applicants for International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology should fill out (Form No. 1-4). Stick your photograph (4cm long x 3cm wide, taken within the last 3 months; facing forward with no hat) with glue in the box.</p> | <p>1 original</p> |
| <p>(2) Examination fee: 30,000 yen</p> | <p>The payment of examination fee should be made in yen to the following account.</p> <p>① Bank: THE JUROKU BANK, LTD. ② Beneficiary: GIFUDAIGAKU KENTEIRYOKOZA ③ Branch: KURONO ④ Account number: 1361948</p> <p>Without separating the enclosed “Request for Payment Form (1),” “Receipt (2),” and “Payment Certificate (3),” remit the examination fee at your nearest bank (a service charge must be paid by the applicant). After making the remittance, attach the “Payment Certificate (3)” with the application papers. Transfers cannot be made from ATMs.</p> <p>*An examination fee is not necessary for those who will complete any of the master’s courses of Gifu University or the Graduate School of Integrated Science and Technology, Shizuoka University in March or September 2023 and wish to continue a post graduate course at the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University.</p> <p>*Foreign students who are recipients of a Japanese Government Scholarship do not need to pay the examination fee. However, submit a Certificate of Japanese Government Scholarship Student with your application.</p> | |
| <p>(3) Curriculum vitae (Form No. 2)</p> | <p>Print clearly on the curriculum vitae form (Form No. 2). *International students should fill from elementary education.</p> | <p>1 original</p> |
| <p>(4) Academic record</p> <p>*Transcript copy of TOEFL, TOEIC, JLPT, or similar test of English / Japanese language proficiency (If any)</p> | <p>Official transcripts from the (a) university and (b) graduate school the applicant graduated from (issued by the university the applicant graduated from).</p> <p>Below is only for those who apply: An academic record issued by your junior college or other educational institutions or schools</p> | <p>(a) 1 original (b) 1 original</p> <p>1 original (if necessary)</p> |
| <p>(5) Entrance Exam and Photograph ID Card</p> | <p>Stick your photograph (4cm long x 3cm wide, taken within the last 3 months; facing forward with no hat) with glue in the box on the Photo ID Card.</p> | <p>1 original</p> |

| | | | |
|---|---|--|---|
| (6) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master's Degree | | | 1 original |
| (7) Thesis for a Master's Degree, etc. (Form No. 3: Cover sheet) | A. Those who hold a Master's degree | (a) A copy of the Master's thesis or an equivalent document | 1 copy |
| | | (b) Summary of Master's thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| | B. Those who are expected to complete a Master's Course | (a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams) | 1 copy |
| | | (b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| (8) Statement of Research Plan (Form No. 4: Cover sheet) | Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 4 as a cover. | | 5 copies (1 original, 4 copies) |
| (9) Letter of Recommendation (Form No. 5) | Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school, your direct leader at the government agencies or private companies. Use Form No. 5. | | 1 original |
| (10) Letter of Consent for Application (Form No. 6) | If you work at the University, government agencies or private companies, submit a letter of consent for application written by the director of your company or public office. Use Form No. 6. | | 1 original |
| (11) Resident Record or Passport copy | International applicants must submit a copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant's status of residence is stated; or a copy of the Temporary Visitor's Visa. If you don't have either of the above, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document. | | 1 photocopy |
| (12) Prospective Academic Supervisors (Form No. 10) | Applicants must request to fill out this form to the primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Use Form No. 10. | | 1 original |
| (13) Self-addressed, 120mm ×235mm envelope | Enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 789 yens' worth of stamps (the stamp includes fees for registered express delivery). | | 1 original |

| | | |
|--|---|------------|
| ※Applicants who are qualified under “3. Qualifications for Application (3)” must submit the follows. | | |
| (14) A copy of the original certificate issued by an official institution | Official transcript of TOEFL, TOEIC, JLPT, or similar test of English / Japanese language proficiency. | 1 copy |
| (15) Supplementary materials to show past research results and achievements | Supplementary materials such as books, scientific theses, scientific reports, scientific lectures, patents. | 1 original |

5. Period of Applications

| | | |
|------------------------|---|--|
| | Applicants who are qualified under “3. Qualifications for Application (1) or (2)” | Applicants who are qualified under “3. Qualifications for Application (3)” |
| The First Application | Tuesday, May 24, 2022 to Friday, May 27, 2022 | Tuesday, April 19, 2022 to Friday, April 22, 2022 |
| | | The result of “Eligibility Screening for Application” will be notified to the applicant personally after Tuesday, May 10, 2022. |
| The Second Application | Friday, December 16, 2022 to Tuesday, December 20, 2022 | Friday, November 11, 2022 to Tuesday, November 15, 2022 |
| | | The result of “Eligibility Screening for Application” will be notified to the applicant personally after Thursday, December 1, 2022. |

Application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9am to 4pm (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kakitome sokutatsu*).

6. Method of Selection of Applicants

Selection will be made by the results of oral examinations, transcripts, and other material of the applicant.

- Oral examination

The oral examination will mainly be centered on the applicant’s Master’s degree thesis or its substitute, and the statement of the applicant’s research plan at the United Graduate School. The examination will consist of 30 minutes of presentation and about 30 minutes of discussion. A computer projector and a Windows laptop computer with PowerPoint will be available for use.

7. Date and Venue of Examinations

Time, date, and the place of the oral examination is shown in the following table.

| The First Application | Monday, July 11, 2022 | Examination | Time | Venue |
|------------------------|--------------------------|-------------|------------------------|---|
| The Second Application | Monday, February 6, 2023 | Oral | Individually specified | The United Graduate School, Gifu University |

8. Announcement of Successful Candidates

| | | | |
|------------------------|------------------------------|---------|--|
| The First Application | Friday, July 22, 2022 | 12:00 - | Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on university website (https://www.gifu-u.ac.jp/). In addition, each successful candidate will be informed by mail. |
| The Second Application | Wednesday, February 15, 2023 | | |

9. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Refer to Page 51.

10. Admission Procedures

Refer to Page 52.

11. Tuition Fee

Refer to Page 52.

12. Long-term Enrollment System

Refer to Page 52.

13. Important Notification

Refer to Page 53.

14. Method of Payment for Examination Fee

Refer to Page 53.

15. Application Fee Reimbursement

Refer to Page 53.

16. Personal Information

Refer to Page 53.

**Special Admission
for
International Students**

1. Number of Students to be Admitted

Refer to Page 45.

2. Admission Dates

April or October 2023

Applicants who wish to change their desired entrance date from April to October after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Wednesday, March 1, 2023.

3. Qualifications for Application

Applicants who have / are expected to be conferred a Master's degree, and should meet all of the following qualifications by March 31, 2023 (for entry in April, 2023) or September 30, 2023 (for entry in October, 2023) .

- a. Applicants should be outstanding students with the ability to obtain a doctorate within three years of admission to the program as international students.
- b. Applicants should be recommended by direct leader such as academic supervisors of their graduate school, government agencies or private companies.
- c. Applicants should be proficient in English.

4. Examination Schedule

| | Date | *Exceptions |
|---------------------------------------|---|---|
| Application | Friday, May 6, 2022 to Tuesday, May 31, 2022 | (For April Admission) Wednesday, June 1, 2022 to Tuesday, December 20, 2022 (For October Admission) Wednesday, June 1, 2022 to Wednesday, May 31, 2023 |
| | Applicants are required to submit the necessary documents to the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by the following ways. If you are currently a university student, the application documents should be submitted by your university dean; if you are currently employed, they should be submitted by your immediate superior; other than those mentioned above, they should be submitted by your research advisor at the university from which you graduated. The documents should be sent by registered express mail. Applications submitted by the student him or herself will NOT be accepted. | |
| Examination | Thursday, June 9 to Thursday, June 30, 2022 | Friday, July 1, 2022 to Friday, June 30, 2023 |
| | Place: Gifu University, applicant's graduating school, or designated place by the admissions committee | |
| Announcement of Successful Candidates | 12:00 on Friday, July 22, 2022 | Within 30 days after the examination date |
| | Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on university website (https://www.gifu-u.ac.jp/). In addition, each successful candidate will be informed by mail. | Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on UGSAS, GU website (http://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/). In addition, each successful candidate will be informed by mail. |

*Exceptions: Applicants who fall into any of the following categories are eligible to take the exam throughout a year from Friday, July 1, 2022 to Friday, June 30, 2023.

- a. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at the member universities of the consortium (see the list below)
- b. Those who are teaching at the member universities of the consortium (see the list below)

Consortium Member Universities

- Bangladesh Agricultural University (Bangladesh) • University of Dhaka (Bangladesh)
 - Guangxi University (China) • Assam University (India)
 - Indian Institute of Technology, Guwahati (India) • Andalas University (Indonesia)
 - IPB University (Indonesia) • Gadjah Mada University (Indonesia)
 - Institut Teknologi Bandung (Indonesia) • Sebelas Maret University (Indonesia)
 - University of Lampung (Indonesia) • National University of Laos (Laos)
 - Mariano Marcos State University (Philippines) • Chulalongkorn University (Thailand)
 - Kasetsart University (Thailand) • King Mongkut's University of Technology Thonburi (Thailand)
 - Hanoi University of Science and Technology (Vietnam) • Thuiloy University (Vietnam)
- (As of April 2022)

- c. Those who are specially accredited by UGSAS, GU

5. Application Procedure

<Documents to be submitted>

| | | | |
|---|--|--|---|
| (1) Application for Admission (Form No. 1-2) | Stick your photograph (4cm long x 3cm wide, taken within the last 3 months; facing forward with no hat) with glue in the box. | | 1 original |
| (2) Certification of examination fee payment | Transfer a ¥30,000 yen examination fee to the following bank account. Remittance charges such as handling fees for yen exchange and incoming remittance are to be paid by the applicant. Include a copy of documentary evidence of remittance with the application papers. | | 1 original/copy |
| (3) Curriculum vitae (Form No. 2) | Print clearly on the curriculum vitae form (Form No. 2). | | 1 original |
| (4) Academic record | Official transcripts from the (a) university and (b) graduate school the applicant graduated from (issued by the university the applicant graduated from). | | (a) 1 original (b) 1 original |
| (5) Official transcript copy | Official transcript of TOEFL, TOEIC, or similar test of English language proficiency. | | 1 copy |
| (6) Entrance Exam and Photograph ID Card | Stick your photograph (4cm long x 3cm wide, taken within the last 3 months; facing forward with no hat) with glue in the box on the Photo ID Card. | | 1 original |
| (7) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master's Degree | | | 1 original |
| (8) Thesis for a Master's Degree, etc. (Form No. 3: Cover sheet) | A. Those who hold a Master's degree | (a) A copy of the Master's thesis or an equivalent document | 1 copy |
| | | (b) Summary of Master's thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| | B. Those who are expected to complete a Master's Course | (a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams) | 1 copy |
| | | (b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| (9) Statement of Research Plan (Form No. 4: Cover sheet) | Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 4 as a cover. | | 5 copies (1 original, 4 copies) |
| (10) Letter of Recommendation (Form No. 5) | Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school, your direct leader at the government agencies or private companies. Use Form No. 5. | | 1 original |
| (11) Letter of Consent for Application (Form No. 6) | If you work at the University, government agencies or private companies, submit a letter of consent for application written by the director of your company or public office. Use Form No. 6. | | 1 original |

| | | |
|---|---|-------------|
| (12) Resident Record or Passport copy | International applicants must submit a copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant's status of residence is stated; or a copy of the Temporary Visitor's Visa. If you don't have either of the above, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document. | 1 photocopy |
| (13) Prospective Academic Supervisors (Form No. 10) | Applicants must request to fill out this form to the primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Use Form No. 10. | 1 original |

6. Method of Selection of Applicants

Video conference interviews will be conducted by three faculty members if the applicant is unable to come to Japan. Please make inquiries about the video conference system (e.g., usage, standards) in advance. If the video conference system is not available, the interviews will be conducted via e-mail.

Notes:

- 1) For e-mail interviews, the applicant will first be contacted via e-mail by his or her prospective primary academic supervisor. This e-mail will be sent to the applicant at the e-mail address written on his or her admission application.
- 2) E-mail interviews will be conducted by three faculty members in the applicant's preferred field of study. The applicant will exchange e-mail messages at least three times with each faculty member (a total of nine times or more).

7. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Refer to Page 51.

8. Admission Procedures

Refer to Page 52.

9. Tuition Fee

Refer to Page 52.

10. Long-term Enrollment System

Refer to Page 52.

11. Important Notification

Refer to Page 53.

12. Method of Payment for Examination Fee

Refer to Page 53.

13. Application Fee Reimbursement

Refer to Page 53.

14. Personal Information

Refer to Page 53.

English Program for International Students

1. Overview

This program aims to accept outstanding students from other countries and cultivate leaders for researchers in the field of Agriculture. In this program, all lectures will be given in English. International students are able to get all the required credits for completion without using Japanese.

Examination fee, admission fee and tuition fee for 3 years for this program's students will be non-collected.

2. Number of Students to be Admitted

| Course | Admission Quota |
|-----------------------------------|-----------------|
| Science of Biological Production | a few |
| Science of Biological Environment | a few |
| Science of Biological Resources | a few |

* Applicants may apply for both of English Program for International Students and Admission on Recommendation.

3. Admission Dates

Refer to page 45.

4. Qualifications for Application

Applicants should meet all of the following qualifications.

(1) Applicants who have been conferred a Master's degree or who are expected to be conferred a Master's degree by March 31, 2023 (for April Admission) or September 30, 2023 (for October Admission).

(2) Applicants should be academically outstanding international students with the ability to obtain a doctorate within three years of enrollment in the program.

(3) Applicants should be recommended by direct leader such as academic supervisors of their graduate school, government agencies or private companies.

(4) Applicants should meet at least one of the following requirements to show English proficiency.

- ① TOEFL iBT: 45 points or more
- ② TOEFL ITP: 520 points or more
- ③ TOEIC Listening & Reading Test, (or TOEIC-IP): 600 points or more
- ④ IELTS: 5 points or more

5. Application Procedure

<Documents to be submitted>

| | | | |
|---|---|--|---|
| (1) Application for Admission (Form No. 1-3) | Stick your photograph (4cm long x 3cm wide, taken within the last 3 months; facing forward with no hat) with glue in the box. | 1 original | |
| (2) Curriculum vitae (Form No. 2) | Print clearly on the curriculum vitae form (Form No. 2). | 1 original | |
| (3) Academic record | Official transcripts from the (a) university and (b) graduate school the applicant graduated from (issued by the university the applicant graduated from). | (a) 1 original (b) 1 original | |
| (4) Score certificate for English proficiency | A copy of the original certificate issued by an official institution, namely, TOEFL iBT, TOEFL ITP, TOEIC Listening & Reading Test, and IELTS. *Any unofficial certificates such as “Prediction Test” are not acceptable. | 1 copy | |
| (5) Entrance Exam and Photograph ID Card | Stick your photograph (4cm long x 3cm wide, taken within the last 3 months; facing forward with no hat) with glue in the box on the Photo ID Card. | 1 original | |
| (6) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master’s Degree | | 1 original | |
| (7) Thesis for a Master’s Degree, etc. (Form No. 3: Cover sheet) | A. Those who hold a Master’s degree | (a) A copy of the Master’s thesis or an equivalent document | 1 copy |
| | | (b) Summary of Master’s thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| | B. Those who are expected to complete a Master’s Course | (a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams) | 1 copy |
| | | (b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies acceptable) |
| (8) Statement of Research Plan (Form No. 4: Cover sheet) | Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 4 as a cover. | 5 copies (1 original, 4 copies) | |
| (9) Letter of Recommendation (Form No. 5) | Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school, your direct leader at the government agencies or private companies. Use Form No. 5. | 1 original | |
| (10) Letter of Consent for Application (Form No. 6) | If you work at the University, government agencies or private companies, submit a letter of consent for application written by the director of your company or public office. Use Form No. 6. | 1 original | |
| (11) Resident Record or Passport copy | International applicants must submit a copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant’s status of residence is stated; or a copy of the Temporary Visitor’s Visa. If you don’t have either of the above, submit a copy of your country’s residence certificate or an equivalent document. | 1 photocopy | |

| | | |
|---|---|------------|
| (12) Prospective Academic Supervisors (Form No. 10) | Applicants must request to fill out this form to the primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Use Form No. 10. | 1 original |
| (13) Self-addressed, 120mm ×235mm envelope | Applicants who are living in Japan enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 789 yens' worth of stamps (the stamp includes fees for registered express delivery). | 1 original |

6. Period of Applications

Friday, December 16, 2022 to Tuesday, December 20, 2022

Application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9am to 4pm (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kakitome sokutatsu*).

7. Method of Selection of Applicants

Selection will be made by the results of oral examinations, transcripts, and other material of the applicant.

- Oral examination

The oral examination will mainly be centered on the applicant's Master's degree thesis or its substitute, and the statement of the applicant's research plan at the United Graduate School. The examination will consist of 30 minutes of presentation and about 30 minutes of discussion. A computer projector and a Windows laptop computer with PowerPoint will be available for use.

8. Date and Venue of Examinations

Time, date, and the place of the oral examination is shown in the following table.

| | Examination | Time | Venue |
|--------------------------|-------------|------------------------|---|
| Monday, February 6, 2023 | Oral | Individually specified | The United Graduate School, Gifu University |

9. Announcement of Successful Candidates

| | | |
|------------------------------|---------|--|
| Wednesday, February 15, 2023 | 12:00 - | Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on university website (https://www.gifu-u.ac.jp/). In addition, each successful candidate will be informed by mail. |
|------------------------------|---------|--|

10. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Refer to Page 51.

11. Admission Procedures

(1) Period and Method for Admission

Guidebook for admission procedures will be sent to the successful candidate in late February 2023 (for April Admission) or late July, 2023 (for October Admission).

(2) Admission Fee

Admission fee will be non-collected.

*Students who fail admission of English program for international students, but enroll by the admission on recommendation need to pay admission fee 282,000 yen (estimated). Students who will complete the master's program at any participating university in March or September 2023 are exempt from admission fee.

*Other than the admission fee, successful candidates are required to purchase "Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)" and "Liability Insurance for Students Pursuing Education and Research (LSR)". Further information will be notified to the candidates after being accepted to the program.

*The admission fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

12. Tuition Fee

Tuition fee (for 3 years, completion term) is exempted

*Students who fail admission of English program for international students, but enroll by the admission on recommendation need to pay tuition fee (half semester) 267,900 yen, (the annual amount 535,800 yen) (estimated).

*The tuition fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

13. Important Notification

(1) Applicants must contact the prospective primary academic supervisor of choice before applying to the program.

(2) Submitted application forms will not be returned and any alteration of the forms will not be allowed.

(3) Applicants must submit complete, accurate and authentic documents for application. To do otherwise may result in denial of admission.

14. Application Fee

Application fee will be non-collected.

15. Personal Information

The information provided in the application, such as name, address, and other personal information will only be used by the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University Office for the purpose of processing applications and notifying successful applicants.

**International Joint Ph.D. Program
in Food Science & Technology
between Gifu University and
Indian Institute of Technology Guwahati**

1. Admission Quota

| Program of Study | Admission Quota | |
|------------------|--|-----------------|
| | International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology | Gifu University |
| 1 | | 1 |

2. Admission Dates

2023 Academic Year (April)

3. Qualifications for Application

Refer to Page 45 for General Admission, Page 55 for Admission on Recommendation.

4. Application Procedure

Refer to Page 48 for General Admission, Page 56 for Admission on Recommendation.

5. Period of Application

| | |
|------------------------|---|
| The First Application | Tuesday, May 24, 2022 to Friday, May 27, 2022 |
| The Second Application | Friday, December 16, 2022 to Tuesday, December 20, 2022 |

Application and supporting documents may either be sent directly via registered express mail (“*kakitome sokutatsu*”) or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9am to 4pm (except for holidays). Applications can be mailed to:

The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University
1-1 Yanagido, Gifu, Japan 501-1193

6. Selection Criteria

Selection will be conducted in two-stages based on the results of the applicant’s oral examination, transcripts, and other supporting materials.

(1) Examination in international joint Ph.D. program in food science & technology

Fundamental knowledge in the target academic area in which the applicant wishes to study, research plan, master’s thesis, etc., and competency in the English language.

(2) Take one of the following examinations;

General admission: Refer to Page 44 - 53

Admission on recommendation: Refer to Page 54 – 59

Applicants who wish to enter the International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology are to apply concurrently for the Science of Biological Resources Course, in which the desired academic supervisor belongs to.

Entrance examinations, both general and by recommendation, will be conducted in July (1st Application) or February (2nd Application).

Document required:

First choice: International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology

Second choice: Science of Biological Resources

(3) English language qualification

You will need to demonstrate competency in English by submitting a test score from one of the following recognized English language qualification, such as:

- ① TOEFL iBT: 80 points or more
- ② TOEIC Listening & Reading Test: 730 points or more
- ③ IELTS: 6 points or more

7. Date and Venue of Examinations

| Examination | Date | Venue |
|---|--|---|
| Examination in International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology | January, 2023 * | Individually specified |
| General admission Admission on recommendation | The First Application: Monday, July 11, 2022 The Second Application: Monday, February 6, 2023 | The United Graduate School, Gifu University |

* Detail dates of the examinations to be announced.

8. Announcement of Successful Candidates

Wednesday, February 15, 2023, 12:00 pm

Examination numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science (Gifu University). Additionally, test results announcements will also be posted on the Gifu University website (<https://www.gifu-u.ac.jp/>). Only successful candidates will be informed by mail.

9. Fields of Instruction and Research Themes of Professors

Applicants are requested to fill out a request for primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Academic supervisor in IITG will be decided after consultation with your primary academic supervisor in Gifu-U.

10. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Refer to Page 51.

11. Admission Procedures

(1) Period and Method for Admission

Guidebook for admission procedures will be sent to the successful candidate in late February, 2023

(2) Admission Fee: 282,000 yen (estimated)

Admission fee will be non-collected.

*The admission fee indicated above is the estimated amount. In the event that the fee is revised, the revised rate will be applied accordingly.

12. Tuition Fee / Terms & Conditions for Waiver

Tuition fee (first semester): 267,900 yen (estimated; 535,800 yen a year is payable in two installments for the first and second semester). Tuition fee for the first semester in the first year is waived. Subsequently, waiver for students will only apply to every semester to students who demonstrate excellent study results for up to 3 years (completion term).

*The tuition fees indicated above are the estimated amount. In the event that the fees are revised, the revised rate will be applied accordingly.

13. Important Notification

Refer to Page 53.

14. Method of Payment for Examination Fee

Refer to Page 53.

15. Application Fee Reimbursement

Refer to Page 53.

16. Personal Information

Refer to Page 53.

OUTLINE
THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF
AGRICULTURAL SCIENCE,
GIFU UNIVERSITY
(THREE-YEAR DOCTORAL COURSE)

1. Purpose of Foundation

By synergistically linking the respective Graduate Schools of Agriculture of Shizuoka University, Gifu University, and Shinshu University,* this program intends: to organize distinctive educational and research organizations; to foster researchers and technicians who have high level professional skills, abundant academic knowledge, and a broad vision in various sciences related to biological production, biological environment, and biological resources; to contribute to the progress of agricultural science and the development of biological resource-related industries; and, furthermore, to contribute to the development of agricultural science and related industries in foreign countries by actively accepting foreign students wishing to learn advanced science and technology, in response to the strong demand from overseas for training programs in the fields of agriculture, forestry, animal husbandry, and fisheries. The educational and research organizations of this graduate school will also contribute to the development of the Chubu district through industry-university collaboration, by taking into account various factors related to agricultural science and industry, such as the environment and location of the Chubu district.

*The United Graduate School of Agricultural Science was reestablished in AY2010 into the present organization consisting of Gifu University and Shizuoka University.

2. Outline of Specialized Courses and Major Chairs [Rengo-Koza]

| Course | Major Chair [Rengo-Koza] | Program Content |
|---|-------------------------------|---|
| Science of Biological Production Instruction and research unite a number of disciplines concerning soil fertility management for crops and feeding management of livestock; animal and plant nutrition, protection, breeding and genetics, and product use; and management, economics, and physical distribution in agricultural, forestry, and livestock industries. Topics concern the scientific principles and technologies of these primary industries in all processes leading from plant and animal production to delivery to the consumer. | Plant Production & Management | Multidisciplinary instruction and research focus primarily on processes leading from plant production through delivery to the consumer. These processes comprise three areas: Production, from planting through harvest; Distribution, from shipment through consumer receipt; and Management and economics related to plant production. In the areas of Production and Distribution, topics in instruction and research include adoption of advanced technologies such as bioengineering and agricultural electronics, conservation of genetic resources, genetic improvement of plants, seed and seedling production, production technologies extending to soil fertility management, distribution technologies for harvest products, and distribution systems. In the area of Management and economics, topics in instruction and research include productivity in biological production, sustained improvement of profitability, and improvement of rural living. |
| | Animal Resource Production | The principles of production are explored for various animals exploited directly or indirectly for human welfare, and new technologies are developed, established, and used. Instruction and research are founded on a broad and advanced perspective on topics concerning animal productivity, including animal production functions, efficient utilization of feed, and optimization of feeding management. Areas of particular emphasis include application of bioengineering relating to animal growth, reproduction, and development, and information processing for improved utilization of feed and feed management technologies. |

| Course | Major Chair [Rengo-Koza] | Program Content |
|---|---|--|
| <p>Science of Biological Environment</p> <p>Crucial issues in this area that cannot be ignored, either currently or in long-term perspectives, include development of farmland, forests, and fields that are the basis for biological production; maintenance of these resources in good condition; disaster prevention; and protection from degradation. Special note should be taken that recent international considerations of global-scale environmental problems from a number of perspectives have also included many issues in the agricultural domain. Aspects of this field include investigation of problems in inorganic environments through techniques in physics and chemistry, and ecological mechanisms as the basis for understanding of problems in the biological communities that populate these environments.</p> | <p>Agricultural & Environmental Engineering</p> | <p>Instruction and research cover primarily engineering and planning techniques to manage the soil environment, water environment, living environment, and regional environment in forests, fields, and agricultural land that serve as the base for plant production, and principles and technologies for greater efficiency in work through machinery, and for building a basis for expanding and stabilizing plant production and improving productivity. Specific work concerns long-term, efficient utilization of national resources through conservation, disaster prevention, development, improvement, and management; construction of related facilities; and development and use of machinery to establish basis for plant production and living environment.</p> |
| | <p>Management of Biological Environment</p> | <p>The structure and function of agricultural land, forests and fields, and the ecosystems they encompass are investigated to gain a biological understanding of changes in ecosystems under inorganic and organic environmental parameters that change from one minute to the next. In one aspect, instruction and research cover principles and policies for conservation and efficient utilization based on the organization of such ecosystems. Other aspects focus on plant conservation and the theory and application of equipment and machinery for environmental regulation and for cultivation in artificial environments.</p> |

| Course | Major Chair [Rengo-Koza] | Program Content |
|---|--|---|
| <p>Science of Biological Resources</p> <p>The organization, structure, and function of animal, plant, microbial, and other biological resources and soil, the base of their production, are explored from an interdisciplinary and integrated perspective including physical chemistry, chemistry, biochemistry, and biology. These analyses are the basis for investigating the principles governing bioresources and life functions; pursuit of basic research in bioengineering; understanding of the structure and function of bioresources, including unutilized resources; and instruction and research in the principles and technologies behind more advanced processing and use, discovery of new functions, and bioresource waste processing.</p> | <p>Utilization of Biological Resources</p> | <p>Research focuses on basic issues of biological resource physiology, chemistry, and physicochemical characteristics. A wide variety of perspectives such as those in physiology, biochemistry, chemistry, physics, and engineering are employed to investigate the scientific principles needed to utilize bioresources as food resources, energy resources, and various other resources and materials. These scientific principles form the basis for development and improvement of technologies for more advanced processing, utilization, and preservation of bioresources, including unutilized resources. Instruction and research cover improvement of clothing, foods, and housing and living environments; conversion of bioresources to energy, feed, and fertilizer; and efficient reductive use and waste disposal.</p> |
| | <p>Smart Material Science</p> | <p>Techniques of chemical analysis and chemical synthesis are used to study the structure and function of various materials comprising different natural and synthetic materials for understanding at different levels, including the atomic, molecular, cellular, and histological. Topics investigated also include interactions among such materials, molecular information signaling mechanisms, and expression mechanisms for physiological activity. The chemical principles of life phenomena are explored, and these principles form the basis for instruction and research concerning chemistry-based techniques for more advanced use of bioresources, and technologies for development of materials embodying new physiological functions.</p> |
| | <p>Regulation of Biological Functions</p> | <p>The qualities, structure, and function of microbes, cultured cells, and biofunctional polymers such as proteins and nucleic acids are analyzed in an exploration of the scientific principles applicable to biological functions and their control and use. These scientific principles form the basis for basic research directed toward enhancement and improvement of metabolic regulatory functions and production functions demonstrated by animals, plants, and microbes, and likewise, development of useful biological production systems. In turn, this work is the foundation for instruction and research on biological production technologies utilizing biotechnologies such as genetic recombination, cell fusion, cell culturing, and enzymatic and microbial immobilization.</p> |

| Program Content |
|---|
| <p>International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology</p> <p>The International Joint Ph.D. Program (JD Program) in the area of research and development in food and related industries aims to (1) nurture human resources who have mastered the fundamental knowledge and skills of food science and technology and acquired the skills in design thinking as well as (2) develop a global mindset (adaptation to different cultures and cooperability with global partners). The Program is structured to foster leaders in food and related industries in the North-eastern region of India as well as the Tokai-region of Japan, and contribute to identifying solutions for sustainable society, enabling optimal utilization of the resources in both regions, and benefiting both regions.</p> |

3. Special Features of the United Graduate School of Agricultural Science

(1) At the time of enrollment, each student may request a professor as his/her primary academic supervisor from the “Fields of Instruction and Research Themes of Professors”. The United Graduate School of Agricultural Science then assigns a professor as a primary academic supervisor and a field of study to each student based on the request.

(2) Each student at the United Graduate School of Agricultural Science will be assigned one primary academic supervisor and two co-academic supervisors.

(3) Although all students are registered with Gifu University, they conduct their course work mainly at the location where his/her primary academic supervisor is located.

The facilities and equipment at participating university locations are, however, available to all students.

[International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology between Gifu University and Indian Institute of Technology Guwahati]

It is mandatory for the Joint Ph.D. student to visit the Partner Institute for at least a period of six months to one year.

Schedule

| Home Institution | 1st | 2nd | Break | 3rd | 4th | Break | 1st | 2nd | Break | 3rd | 4th | Break | 1st | 2nd | Break | 3rd | 4th | Break |
|------------------|--------------------------------|-----|-------|-----|-----|-------|--------------------------------|-----|-------|-----|-----|-------|--------------------------------|-----|-------|-----|-----|-------|
| | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 2 |
| GU | Course work and research@ GU | | | | | | Course work and research@ IITG | | | | | | Course work and research@ GU | | | | | |
| IITG | Course work and research@ IITG | | | | | | Course work and research@ GU | | | | | | Course work and research@ IITG | | | | | |

4. Requirements for Doctoral Degree

Successful completion of this doctoral course requires a residency of 3 years or more and acquisition of the prescribed credits. In addition, a student must pass the review of his/her doctoral dissertation along with the final examination. The successful completer will be awarded a Doctoral Degree in Philosophy (Agricultural Science). However, the aforementioned period of attendance may be shortened for any student who has achieved particularly outstanding research results.

To successfully complete this graduate course, at least 12 credits must be earned, 8 of which must be in required subjects with the remaining 4 in elective subjects.

The minimum credits required for completion of English Program for International Students is 12 (10 credits from required subjects and 2 credits from elective subjects).

[International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology between Gifu University and Indian Institute of Technology Guwahati]

Successful completion of this doctoral course requires a residency of 3 years or more and acquisition of the prescribed credits. In addition, the student must pass the review of his/her doctoral dissertation along with the final examination. A Doctor of Philosophy degree will be conferred when all the requirements are met. The Degree is jointly awarded by both Institutions with the signatures of the Director of IITG and the President of Gifu-U as well as the crest of both Institutions on a single degree parchment.

To successfully complete this graduate course, at least 12 credits must be earned, 9 of which must be in required subjects with the remaining 3 in elective subjects.

Fields of Instruction and Research Themes of Professors

This list is subject to change at the time of the 3rd application. Please check our website (<http://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/>) for updates.

| Course | Major Chair [Rengo-Koza] | PROFESSOR | Field of Instruction and Research | | Major Subject Offered for Examination |
|--------------------------------------|---|---|---|---|---|
| | | | Research Field | Research Theme | |
| Science of Biological Production | Plant Production & Management | YAMADA, Kunio (Gifu University) | Floricultural Science | Plant physiological study on improvement of quality and productivity of ornamental plants | Floricultural Science |
| | | MATSUBARA, Yoichi (Gifu University) | Vegetable Crop Science | Biological and physiological study and the application to sustainable culture and environmental stress tolerance in vegetable crops | Vegetable Crop Science |
| | | SUZUKI, Katsumi (Shizuoka University) | Protected Horticulture and Vegetable Crop Science | The study of suitable and high-quality vegetable production in protected horticulture | Protected Horticulture and Vegetable Crop Science |
| | | KIRIWA, Yoshikazu (Shizuoka University) | Vegetable Crop Science | The study on physiological response to abiotic stress in vegetable crop production | Vegetable Crop Science |
| | | YAHATA, Masaki (Shizuoka University) | Pomology | Study on physiology of fruit set and Development of high quality fruit tree using chromosome engineering technique | Pomology |
| | | MATSUMOTO, Kazuhiro (Shizuoka University) | Horticultural Science | The physiological and ecological studies on horticultural crops for the production of high quality agricultural products | Horticultural Science |
| | | NAKATSUKA, Takashi (Shizuoka University) | Floricultural Science | Molecular biology of floricultural plants | Floricultural Science and Plant Molecular Biology |
| | | SHIMAZU, Teruaki (Gifu University) | Environmental Control in Plant Production Systems | Development of environmental control techniques for plant production and its application to plant science | Greenhouse and Biosystems Engineering |
| | | OBA, Shinya (Gifu University) | Plant Growth Diagnostics | Analysis of economical plants by genetic and eco-physiological aspects to develop the technology for plant production | Plant Eco-physiology |
| | | YAMANE, Kyoko (Gifu University) | Genetics and Plant Breeding | Search, collecting and evaluation of plant genetic resources | Genetics and Plant Breeding |
| | | NAKANO, Kohei (Gifu University) | Postharvest Engineering | Development of the quality preservation theory and technology in agricultural produces | Postharvest Technology |
| | | KATO, Masaya (Shizuoka University) | Postharvest Physiology | Physiology, biochemistry, and molecular biology in postharvest horticultural crops | Postharvest Physiology |
| | | LEE, Younmi (Gifu University) | Agricultural Economics | A theoretical and empirical study on regional agricultural economy and agricultural policy | Agricultural Economics and Agricultural Policy |
| | | SHIBAGAKI, Hiroshi (Shizuoka University) | Agricultural Management and Economics | Theoretical and positive studies on agricultural cooperatives and agricultural finance | Agricultural Management and Economics |
| | THAMMAWONG, Manasikan (Gifu University) | Postharvest Physiology | Study of the quality change mechanism in food and the development of quality maintenance technology | Postharvest Physiology | |
| | (*) TSUTA, Mizuki (Gifu University) | Non-destructive Evaluation Technology | Food and agricultural products evaluation by light spectroscopy and data mining | Non-destructive Evaluation Technology | |
| | Animal Resource Production | KUSUDA, Satoshi (Gifu University) | Reproductive Sciences in Animal Conservation | Reproductive physiology and ecology in endangered animals and development of "Zoo Sciences" | Reproductive Sciences in Zoo Animals |
| | | SASANAMI, Tomohiro (Shizuoka University) | Molecular Cell Biology | The studies on the molecular mechanism of egg envelop formation and fertilization in birds | Cell Biology |
| | | YOGO, Keiichiro (Shizuoka University) | Reproductive Biology | Molecular and cellular biology of development and differentiation of mammalian germ cells | Reproductive Biology |
| | | IWASAWA, Atsushi (Gifu University) | Chemical Endocrinology | Biochemistry of animal endocrine system and metabolism | Chemical Endocrinology |
| MATSUMURA, Shuichi (Gifu University) | | Animal Genetics | Studies on evolutionary history and genetic diversity of animals | Animal Molecular Genetics | |
| YAYOTA, Masato (Gifu University) | | Animal Nutritional Ecology | Nutritional ecology of ruminants and application to animal production | Animal Nutrition | |
| YAMAMOTO, Akemi (Gifu University) | | Animal Nutrition | Nutrients requirement and nutritional evaluation for feedstuffs in monogastric animal | Animal Nutrition | |
| NINOMIYA, Shigeru (Gifu University) | | Animal Welfare and Behaviour | Applied Ethology and animal welfare | Animal Welfare and Behaviour | |
| KOYA, Yasunori (Gifu University) | Animal Reproductive Biology | Studies on evolution of reproductive mode in fishes using functional morphology of gonad and reproductive behavior, and their application for aquaculture | Animal Reproductive Biology | | |

(*) indicates guest professors from the National Agriculture and Food Research Organization (NARO). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the Institute of Food Research, NARO.

| Course | Major Chair [Rengo-Koza] | PROFESSOR | Field of Instruction and Research | | Major Subject Offered for Examination |
|-----------------------------------|--|---|--|---|--|
| | | | Research Field | Research Theme | |
| Science of Biological Environment | Agricultural & Environmental Engineering | HIRAMATSU, Ken (Gifu University) | Environmental Hydraulics | Management of water environment and aquatic ecosystem in rural area | Environmental Hydraulics |
| | | ONISHI, Takeo (Gifu University) | Hydrology | Understanding the mechanism of water and material cycles and evaluation of the anthropogenic impact on these cycles | Hydrology |
| | | ITO, Kengo (Gifu University) | Aquatic Environment | Management of environment and ecosystem conservation in paddy field | Ecology and Civil Engineering |
| | | NISHIMURA, Shinichi (Gifu University) | Engineering for Agricultural Structures | Safety and effective use of agricultural structures for water supply | Engineering for Agricultural Structures |
| | | NISHIYAMA, Tatsuro (Gifu University) | Engineering Mechanics of Structures for Irrigation | Mechanical analysis of dams for irrigation | Engineering Mechanics of Structures for Irrigation |
| | | IMAIZUMI, Fumitoshi (Shizuoka University) | Erosion Control Engineering | Management of sediment and water in mountainous catchments | Erosion Control Engineering |
| | | KATSUTA, Nagayoshi (Gifu University) | Earth's Environmental System | Decoding response of terrestrial environment to global changes recorded in lacustrine sediment | Earth's Environmental System |
| | | NODA, Keigo (Gifu University) | Water Resource Environment | Sustainability development in water resource environment | Water Resource Environment |
| | Management of Biological Environment | MATSUI, Tsutomu (Gifu University) | Crop Production Science | Sustainable crop production | Crop Production Science |
| | | TSUCHIDA, Koji (Gifu University) | Insect Ecology | Studies on the genetical variation within insect populations | Insect Ecology |
| | | MUKAI, Takahiko (Gifu University) | Biogeography | The studies of the biodiversity in space and through time, and of the conservation methods | Biogeography |
| | | TAGAMI, Yohsuke (Shizuoka University) | Applied Entomology | Development of insect pest control technique using insect-symbiont relationship | Biology of insect symbiosis |
| | | KASAI, Atsushi (Shizuoka University) | Biological Control | Studies of interspecies interactions on pest management | Biological Control |
| | | HORIIKE, Tokumasa (Shizuoka University) | Molecular Evolution | Molecular evolution using genomic information | Bioinformatics |
| | | SUGA, Haruhisa (Gifu University) | Molecular Plant Pathology | Studies on evolution, ecology and pathogenicity of plant pathogens | Molecular Plant Pathology |
| | | YAMASHITA, Masayuki (Shizuoka University) | Ecological Genetics | Invasion ecology of exotic plants and weeds | Invasion Ecology |
| | | INAGAKI, Hidehiro (Shizuoka University) | Agroecology, Weed science | Studies on assessment of biodiversity in rural area and ecological management of weed | Weed science |
| | | OHTSUKA, Toshiyuki (Gifu University) | Ecosystem Ecology | Carbon cycling and carbon sequestration in terrestrial ecosystems | Carbon cycling in terrestrial ecosystems |
| | | IIO, Atsuhiko (Shizuoka University) | Forest Eco-physiology | Eco-physiological process of canopy photosynthesis and transpiration in forest ecosystems | Forest Eco-physiology |
| | | MURAOKA, Hiroyuki (Gifu University) | Ecosystem Physiology | Ecophysiological study from whole-plant to landscape in terrestrial ecosystems | Ecosystem Physiology |
| | | WEI, Yongfen (Gifu University) | Environmental Monitoring | Monitoring and assessment of mass circulation in basin environment | Environmental Monitoring |
| | | ANDO, Masaki (Gifu University) | Management of Forest and Wildlife | Studies on biological interactions in forest ecology and wildlife management | Management of Forest and Wildlife |
| | | TOMITA, Ryoto (Shizuoka University) | Environmental Sociology | Consideration of social thought and theory for sustainable and adaptive governance based on social research | Environmental Sociology |
| | | MIYAKE, Takashi (Gifu University) | Evolutionary Ecology | Interaction between plants and animals and concomitant evolution of traits | Evolutionary Ecology |
| | | SAITOH, Taku (Gifu University) | Environmental Biophysics | Studies on carbon, water and heat cycles in terrestrial ecosystems | Environmental Biophysics |
| | | MORIBE, Junji (Gifu University) | Wildlife Resources | Conservation and sustainable use of wildlife | Wildlife Resources |
| | | HIROTA, Isao (Gifu University) | Regional Resource Ecology | Studies on agroecosystem and natural resource in Southeast Asia and Japan | Regional Resource Ecology |
| | | TANAKA, Takashi S. T. (Gifu University) | Agronomy | Development of crop management practices that can enhance crop productivity | Agronomy |

| Course | Major Chair [Rengo-Koza] | PROFESSOR | Field of Instruction and Research | | Major Subject Offered for Examination |
|-----------------------------------|--------------------------------------|---|--|--|---|
| | | | Research Field | Research Theme | |
| Science of Biological Resources | Utilization of Biological Resources | KAWAI, Shingo (Shizuoka University) | Lignin Biochemistry | Biosynthesis and biodegradation of lignin and related compounds | Lignin Biochemistry |
| | | YAMADA, Masaaki (Shizuoka University) | Polymer Composite Material | The development and performance evaluation of new wood adhesives | Wood Adhesion |
| | | KOJIMA, Yoichi (Shizuoka University) | Wood Biomass Science | Studies on the effective use of woody biomass | Wood Biomass Science |
| | | KOBAYASHI, Kenji (Shizuoka University) | Timber Structures | Studies on seismic performances of timber structures | Timber Structures |
| | | IWAMOTO, Satoshi (Gifu University) | Physical Chemistry and Engineering for Food Materials | Physicochemical studies of phase and/or glass transitions of food colloids for high value-added food production | Colloid Science for Food Materials |
| | | ◎NISHIZU, Takahisa (Gifu University) | Food Process Engineering | Research in food physics and engineering analysis of food process operations | Food Process Engineering |
| | | ◎KATSUNO, Nakako (Gifu University) | Food Processing Chemistry | Study of the chemical change in food during processing and preservation | Food Processing Chemistry |
| | | ◎YABE, Tomio (Gifu University) | Carbohydrate Biochemistry | Biochemistry and molecular cell biology of glycans for molecular structure and biological functions | Glycobiology |
| | | SUZUKI, Shiro (Gifu University) | Biomass Chemistry | Research of chemical structure, formation, and utilization of biomass | Biomass Chemistry |
| | | KOBORI, Hikaru (Shizuoka University) | Wood Biomass Science | Utilization of wood biomass and development of nondestructive measurement | Wood Based Material Utilization |
| | (*) ANDO, Yasumasa (Gifu University) | Food Process Engineering | Studies on process development of agricultural products for high-quality foods | Food Process Engineering | |
| | Smart Material Science | ANDO, Hiromune (Gifu University) | Chemistry Featuring Carbohydrates | Molecular biology-oriented chemical synthesis of carbohydrates and application of their functions to medicinal chemistry | Chemistry on Synthesis and Application of Carbohydrates |
| | | IMAMURA, Akihiro (Gifu University) | Applied Carbohydrate Chemistry | Chemical synthesis of biologically-relevant carbohydrate molecules and functional glyco-probes | Applied Carbohydrate Chemistry |
| | | ◎UENO, Yoshihito (Gifu University) | Nucleic Acid Chemistry | Design and chemical synthesis of functional nucleic acids for gene therapy and genetic diagnosis | Chemistry of Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids |
| | | YOSHIMATSU, Mitsuhiro (Gifu University) | Life Science Organic Chemistry | Synthesis of bioactive compounds using a new methodology and their biological functions | Organic Chemistry |
| SUZUKI, Kenichi (Gifu University) | | Cell Biophysics | Studies on cell membrane structures and signal transduction by single-molecule imaging | Cell Biophysics | |

(*) indicates guest professors from the National Agriculture and Food Research Organization (NARO). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the Institute of Food Research, NARO.

◎: Professor who can also teach International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology.

| Course | Major Chair [Rengo-Koza] | PROFESSOR | Field of Instruction and Research | | Major Subject Offered for Examination |
|---|------------------------------------|---|-----------------------------------|--|---------------------------------------|
| | | | Research Field | Research Theme | |
| Science of Biological Resources | Regulation of Biological Functions | NAKAGAWA, Tsutomu (Gifu University) | Applied Biochemistry | Biochemistry and molecular cell biology of enzymes and proteins, and their application | Applied Biochemistry |
| | | NAKAMURA, Kohei (Gifu University) | Microbial Molecular Ecology | Fundamental and applied microbial ecology in anaerobic environments | Microbial Molecular Ecology |
| | | OGAWA, Naoto (Shizuoka University) | Environmental Microbiology | Analysis of the function of environmental microbes | Environmental Microbiology |
| | | ◎SHIMIZU, Masafumi (Gifu University) | Plant Pathology | Studies on plant probiotics and plant-microbe interactions in the rhizosphere | Plant Pathology |
| | | ◎NAKAGAWA, Tomoyuki (Gifu University) | Food and Nutritional Biochemistry | Molecular cell biology and molecular breeding of yeasts, Development of industrial enzymes | Food Microbiology |
| | | ◎SHIMADA, Masaya (Gifu University) | Molecular Nutrition | Regulation of metabolic diseases (e.g., fatty liver) by nutrients and food components | Molecular Nutrition |
| | | ◎EBIHARA, Akio (Gifu University) | Enzyme Science | Studies on structure and function of enzyme | Enzyme Science |
| | | KIZUKA, Yasuhiko (Gifu University) | Glyco-biochemistry | Biochemical studies on physiological functions and disease involvement of glycans | Glyco-biochemistry |
| | | IKKA, Takashi (Shizuoka University) | Plant Nutritional Physiology | Plant nutritional study on abiotic stress tolerance mechanism | Plant Nutritional Physiology |
| | | ◎KOYAMA, Hiroyuki (Gifu University) | Plant Cell Technology | Molecular physiology and molecular breeding of acid soil tolerant plants | Plant Cell Technology |
| | | ◎YAMAMOTO, Yoshiharu Y. (Gifu University) | Plant Genome Biology | Study of environmental adaptation and evolution in plants | Plant Genome Biology |
| | | ◎KOBAYASHI, Yuriko (Gifu University) | Molecular Plant Nutrition | Molecular mechanisms of plant response and tolerance to nutrition and toxic elements | Molecular Plant Nutrition |
| | | NISHIMURA, Naomichi (Shizuoka University) | Nutritional Biochemistry | Studies on the physiological effects of food components via changed colonic fermentation | Nutritional Biochemistry |
| | | KITAGUCHI, Kohji (Gifu University) | Nutritional Immunology | Studies on the immunomodulation by food ingredients | Nutritional Immunology |
| | | (**)HORIE, Masanori (Gifu University) | Microorganism Function Control | Application and evaluation of interaction of lactic acid bacteria and animals | Food Microbiology Science |
| | | (**)CHIBA, Yasunori (Gifu University) | Microbial Glycobiology | Production technologies of glycan-engineered proteins and materials by microbes | Microbial Glycobiology |
| | | (**)TATENO, Hiroaki (Gifu University) | Glycan Engineering | Researches of glycan and lectin engineering | Glycan Engineering |
| (***)TANAKA, Tsuyoshi (Gifu University) | Genome Informatics | Evolutionary study of plants using genome information | Genome Informatics | | |

(**) indicates guest professors from the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the AIST.

(***) indicates guest professors from the National Agriculture and Food Research Organization (NARO). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the Research Center for Advanced Analysis, NARO (NAAC).

◎: Professor who can also teach International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology.

| Course | PROFESSOR | Field of Instruction and Research | | Major Subject Offered for Examination |
|--|---------------------------------|-----------------------------------|---|---------------------------------------|
| | | Research Field | Research Theme | |
| International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology | YANASE, Emiko (Gifu University) | Bioorganic Chemistry | Structural analysis and chemical study of plant polyphenols | Bioorganic Chemistry |

入試統計・Admission Statistics

令和3年度・2021

| 専攻 Course | 募集人員 Admission Quota | 志願者数 Candidates | 受験者数 Candidates taken exam | 合格者数 Successful Candidates | 入学者数 Enrolled |
|--|-------------------------|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------|
| 生物生産科学 Science of Biological Production | 7 | 8(8) | 7(7) | 7(7) | 7(7) |
| 生物環境科学 Science of Biological Environment | 5 | 4(3) | 4(3) | 4(3) | 4(3) |
| 生物資源科学 Science of Biological Resources | 6 | 20(5) | 20(5) | 20(5) | 18(4) |
| 国際連携食品科学技術 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology | 2 | 4(4) | 4(4) | 2(2) | 1(1) |
| 計 Total | 20 | 36(20) | 35(19) | 33(17) | 30(15) |

令和2年度・2020

| 専攻 Course | 募集人員 Admission Quota | 志願者数 Candidates | 受験者数 Candidates taken exam | 合格者数 Successful Candidates | 入学者数 Enrolled |
|--|-------------------------|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------|
| 生物生産科学 Science of Biological Production | 7 | 9(3) | 9(3) | 9(3) | 7(1) |
| 生物環境科学 Science of Biological Environment | 5 | 6(4) | 6(4) | 6(4) | 2(0) |
| 生物資源科学 Science of Biological Resources | 6 | 11(5) | 11(5) | 11(5) | 7(1) |
| 国際連携食品科学技術 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology | 2 | 4(4) | 4(4) | 2(2) | 2(2) |
| 計 Total | 20 | 30(16) | 30(16) | 28(14) | 18(4) |

令和元年度・2019

| 専攻 Course | 募集人員 Admission Quota | 志願者数 Candidates | 受験者数 Candidates taken exam | 合格者数 Successful Candidates | 入学者数 Enrolled |
|--|-------------------------|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------|
| 生物生産科学 Science of Biological Production | 7 | 5(4) | 5(4) | 5(4) | 4(3) |
| 生物環境科学 Science of Biological Environment | 5 | 9(5) | 9(5) | 9(5) | 9(5) |
| 生物資源科学 Science of Biological Resources | 6 | 7(3) | 6(3) | 6(3) | 6(3) |
| 国際連携食品科学技術 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology | 2 | 3(3) | 3(3) | 2(2) | 2(2) |
| 計 Total | 20 | 24(15) | 23(15) | 22(14) | 21(13) |

平成30年度・2018

| 専攻 Course | 募集人員 Admission Quota | 志願者数 Candidates | 受験者数 Candidates taken exam | 合格者数 Successful Candidates | 入学者数 Enrolled |
|---|-------------------------|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------|
| 生物生産科学 Science of Biological Production | 7 | 5(4) | 5(4) | 5(4) | 5(4) |
| 生物環境科学 Science of Biological Environment | 5 | 13(10) | 13(10) | 12(9) | 11(8) |
| 生物資源科学 Science of Biological Resources | 8 | 17(8) | 17(8) | 17(8) | 16(7) |
| 計 Total | 20 | 35(22) | 35(22) | 34(21) | 32(19) |

平成29年度・2017

| 専攻 Course | 募集人員 Admission Quota | 志願者数 Candidates | 受験者数 Candidates taken exam | 合格者数 Successful Candidates | 入学者数 Enrolled |
|---|-------------------------|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------|
| 生物生産科学 Science of Biological Production | 7 | 7(5) | 7(5) | 7(5) | 6(4) |
| 生物環境科学 Science of Biological Environment | 5 | 7(6) | 7(6) | 7(6) | 6(5) |
| 生物資源科学 Science of Biological Resources | 8 | 15(13) | 14(12) | 14(12) | 14(12) |
| 計 Total | 20 | 29(24) | 28(23) | 28(23) | 26(21) |

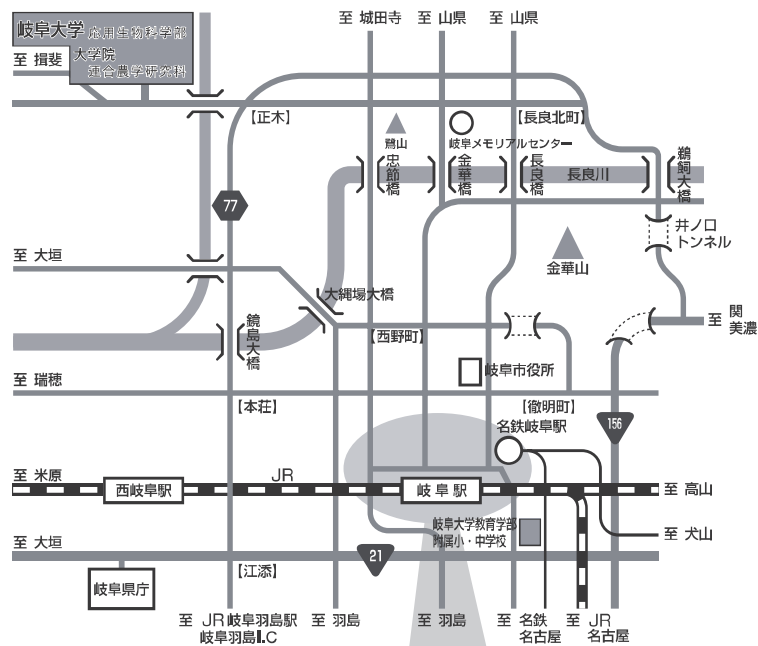
()内数字は、外国人留学生を内数で示す。

() indicates the number of international students.

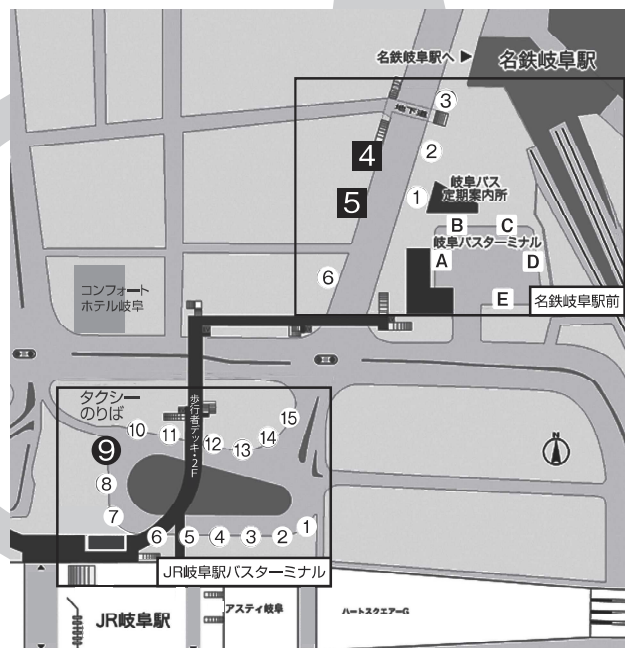
試験場への案内

| 試験場名 | バスのりば | | 路線名 | 行先 | 系統No. |
|--------------------|--------------|--------------|---------------------|----------------|-------------------|
| | JR 岐阜駅 | 名鉄岐阜駅 | | | |
| 岐阜大学大学院 連合農学研究所 | バス ターミナル⑨ | (北進)のりば ⑤ | 岐阜大学・病院線 (忠節橋経由) | 岐阜大学病院 岐阜大学 | C70 C71 C72 |
| | | (北進)のりば ④ | 岐南町線 (長良橋経由) | 岐阜大学病院 | N45 |

公共交通機関を利用した場合の料金は、330円。(2022年4月現在)



▼JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺バスのりば

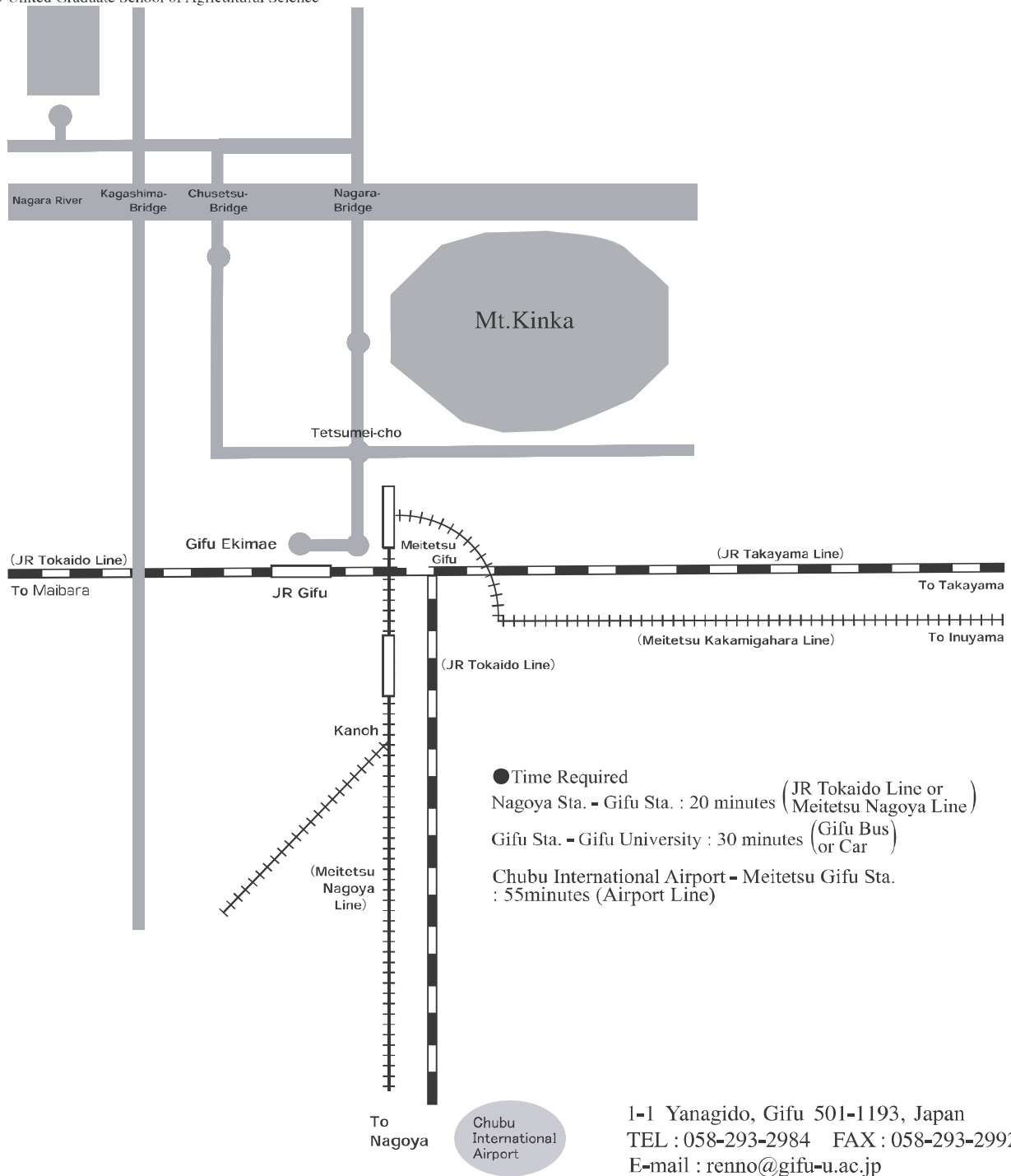


Maps and Directions

| Entrance Exam Location | Bus Station | | Route / Line | Destination | Bus No. |
|---|-----------------|--------------------------|---|---|-------------------|
| | JR Gifu Station | Meitetsu Gifu Station | | | |
| The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University | Bus Terminal ⑨ | Bus stop ⑤ (North bound) | Gifu University • Hospital Line (via Chusetsu Bridge) | Gifu University Hospital Gifu University | C70 C71 C72 |
| | | Bus stop ④ (North bound) | Gin-an-cho Line (via Nagara Bridge) | Gifu University Hospital | N45 |

Bus fare: 330 yen (as of April, 2022)

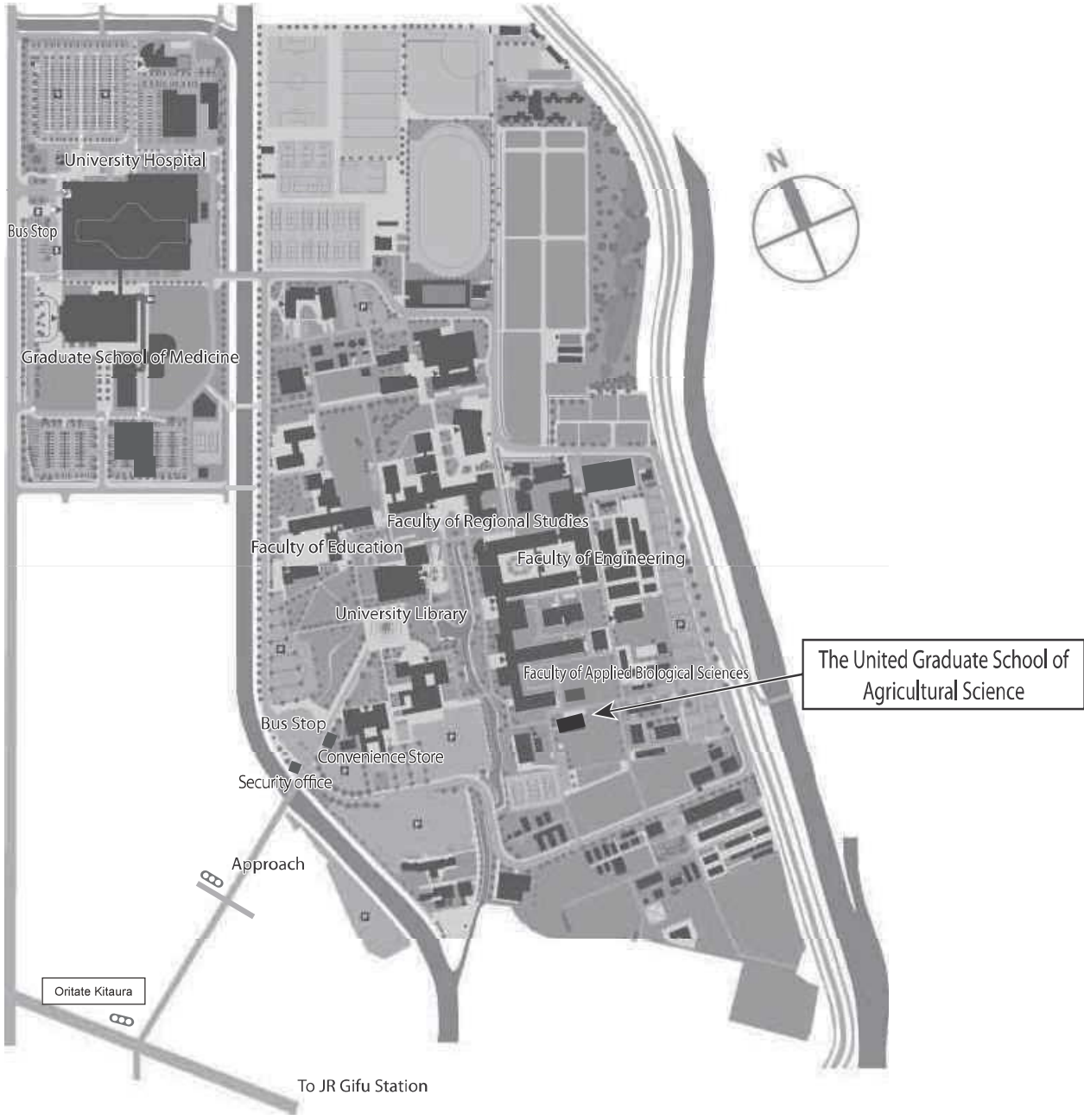
Faculty of Applied
Biological Sciences,
Gifu University
The United Graduate School of Agricultural Science



岐阜大学構内案内図



Campus Map



問い合わせ及び出願書類提出先

岐阜大学大学院連合農学研究科 連合農学係
〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

TEL: (058)293-2984・2985

FAX: (058)293-2992

CONTACT INFORMATION

The United Graduate School of Agricultural Science,
Gifu University
1-1 Yanagido, Gifu 501-1193, JAPAN

E-mail: renno@gifu-u.ac.jp

Website: <http://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/>

この募集要項の翻訳版（英語）において、意味又は文言に相違があった場合、日本語版が優先します。

In the event of any discrepancy between the Japanese version and the English version, the Japanese version shall prevail.